「公共施設」に関するアンケート調査
報　告　書

平成２９年１０月

多治見市

目　次

Ⅰ　調査概要 …… 1

１．１　調査の目的 …… 1
１．２　調査項目 …… 1
１．３　調査の設計 …… 1
１．４　回収結果 …… 1
１．５　報告書の見方 …… 1
１．６　対象者の属性 …… 2
　問１　性別 …… 2
　問２　年代 …… 2
　問３　家族構成 …… 3
　問４　職業 …… 3
　問５　居住地区（小学校区） …… 4

Ⅱ　調査結果 …… 5

２．１　公共施設の利用状況について …… 5
　問６　公共施設の利用状況 …… 5
２．２　公共施設の現状や今後のあり方について …… 7
　問７　公共施設マネジメントの周知 …… 7
　問８　公共施設の整備を今後どのように進めていくべきか …… 8
　問９　公共施設の利用停止や使用料の値上げを容認できるか …… 9
　問１０　数や量を減らしてもよい公共施設 …… 10
　問１１　公共施設の使用料の基準 …… 11
　問１２　公共施設の適切な管理のための対策 …… 12
　問１３　優先的に維持するべきと考える施設 …… 13
　問１４　施設の今後のあり方についてのご意見・ご提案 …… 18

Ⅲ　調査票 …… 31

Ⅰ　調査概要

１．１　調査の目的

多治見市の主な公共施設の利用状況や将来にわたる必要性、公共施設マネジメントの進め方や方策に関する意向を調査し、今後の取り組みの基礎資料とするため。

１．２　調査項目

（１）属性
（２）公共施設の利用状況について
（３）公共施設の現状や今後のあり方について

１．３　調査の設計

（１）調査地域	多治見市全域
（２）調査対象	市内在住の１６歳以上の男女
（３）標本数	２，０００人
（４）抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出法
（５）調査方法	郵送配布・郵送回収
（６）調査時期	平成２９年６月１日～６月３０日
（７）調査実施機関	株式会社　中部タイム・エージェント

１．４　回収結果

調査時期	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B／A)	有効回答率 (C／A)
平成２９年6月	２，０００	８３３	８３３	４１．７％	４１．７％

１．５　報告書の見方

(1)　比率は全てパーセントで表し、小数点第２位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0％にならない場合がある。

(2)　複数回答が可能な設問では総回答数として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何％を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100％を超える。

(3)　本報告書中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

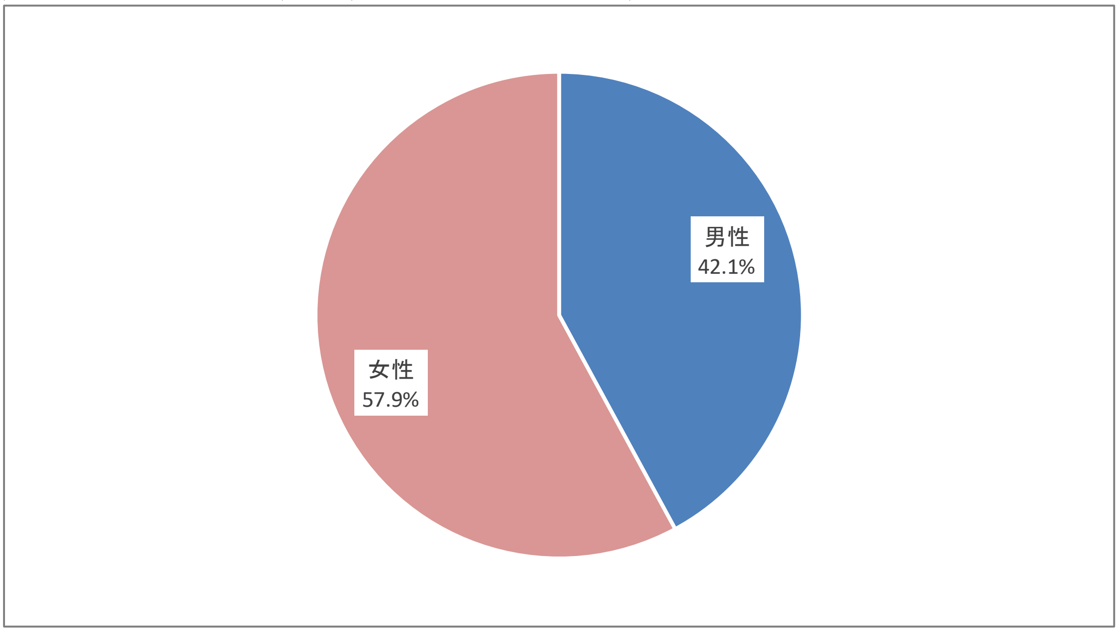
１．６　対象者の属性

問１　性別

図 1-1 性別

回答数	825

回答率	99.0%

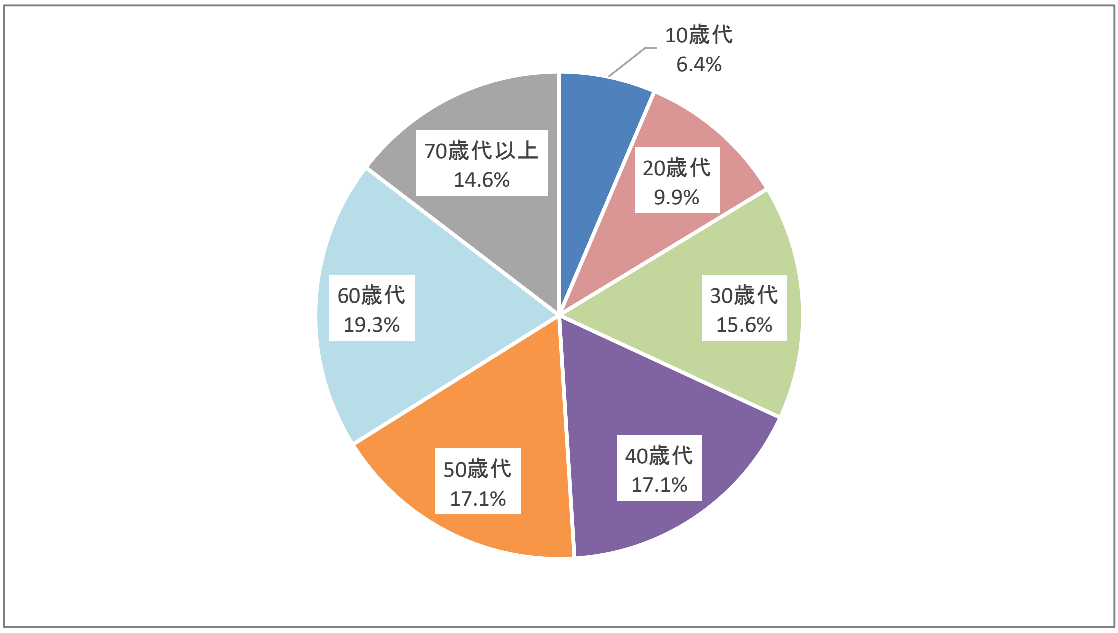


問２　年代

図 1-2 年代

回答数	829

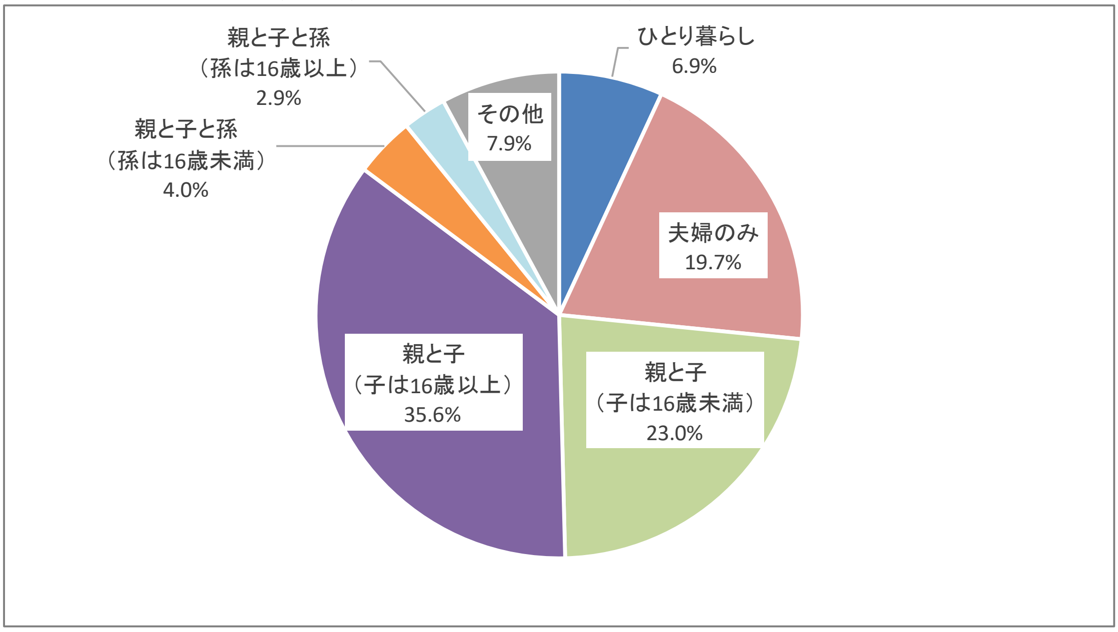
回答率	99.5%



問３　家族構成

図 1-3　家族構成

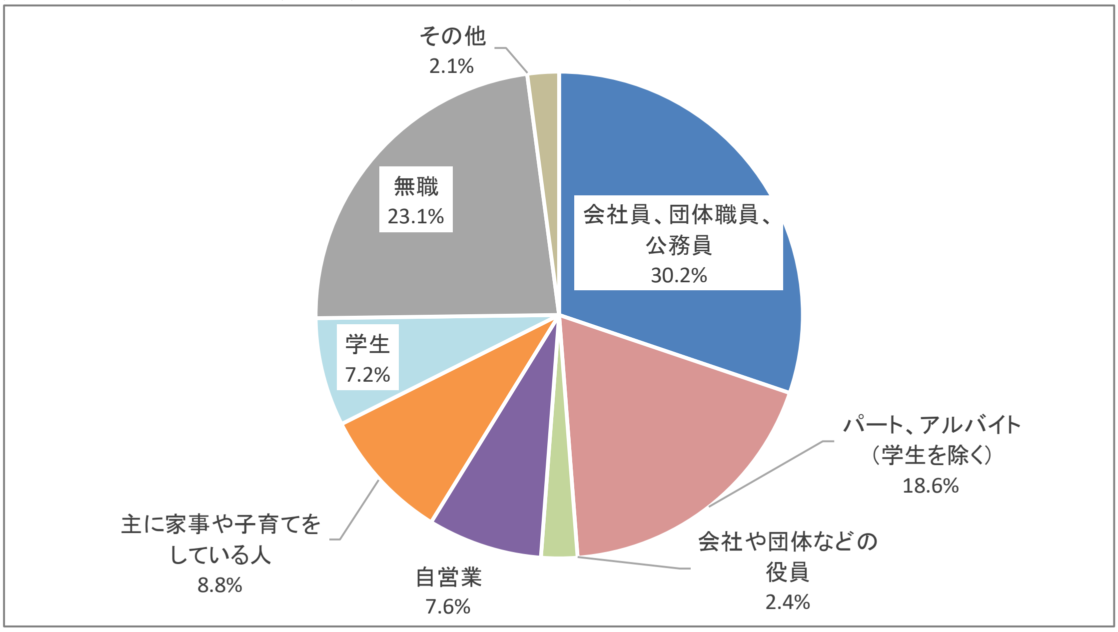
回答数	826	回答率	99.2%



問４　職業

図 1-4　職業

回答数	828	回答率	99.4%

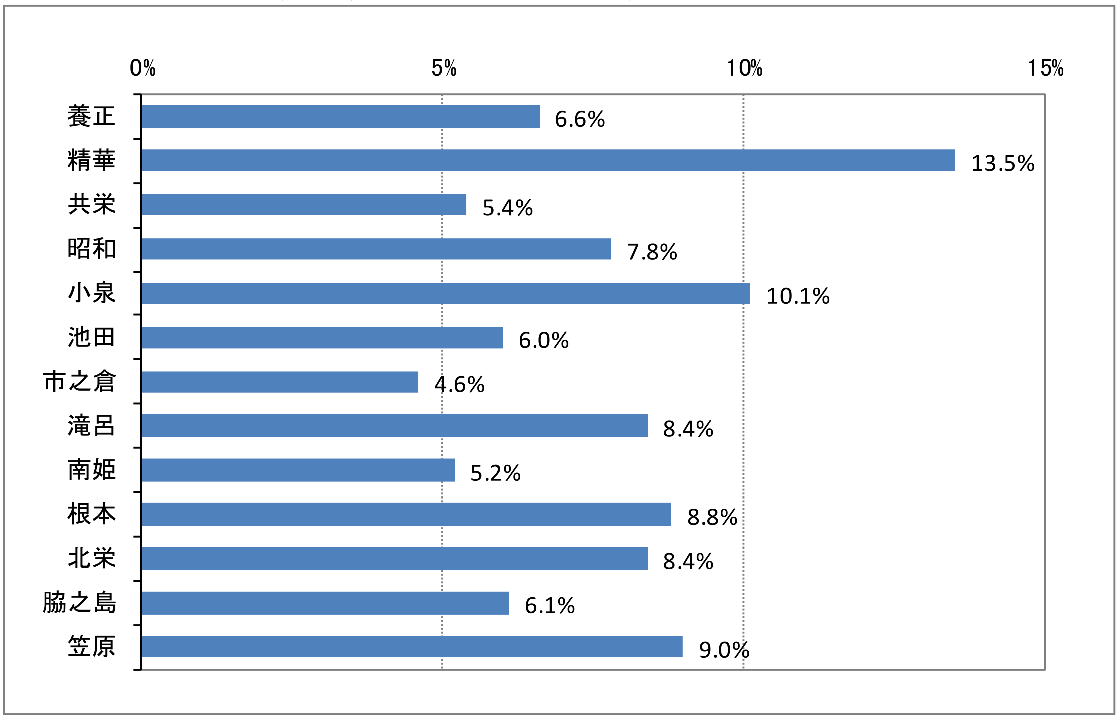


問５　居住地区（小学校区）

図 1-5 居住地区（小学校区）

回答数	831

回答率	99.8%



Ⅱ　調査結果

２．１　公共施設の利用状況について

問６　公共施設の利用状況

問６　不特定の市民が利用できる①～㊶の公共施設について、あなたの利用状況に最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

図 2-1 公共施設の利用状況

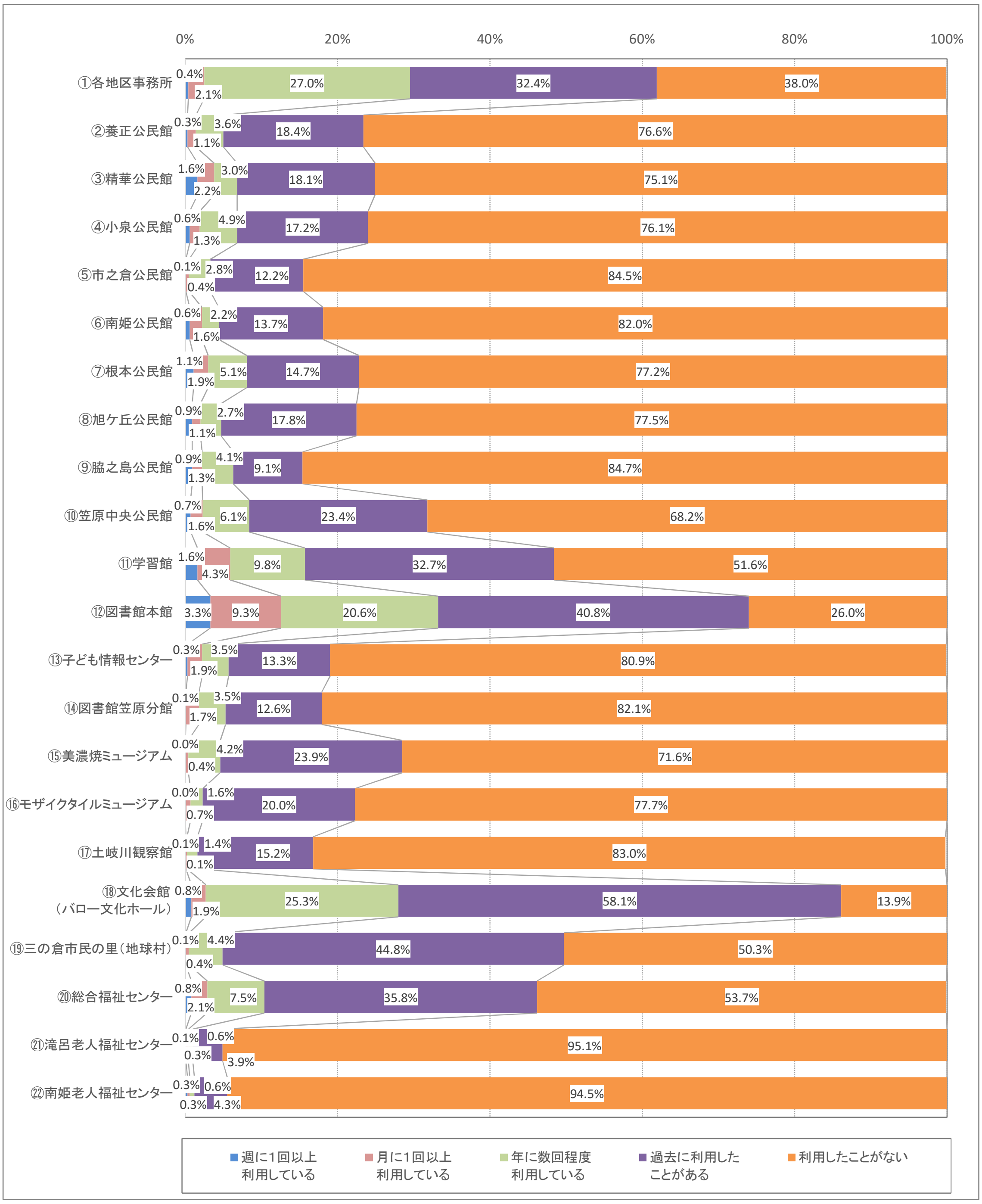
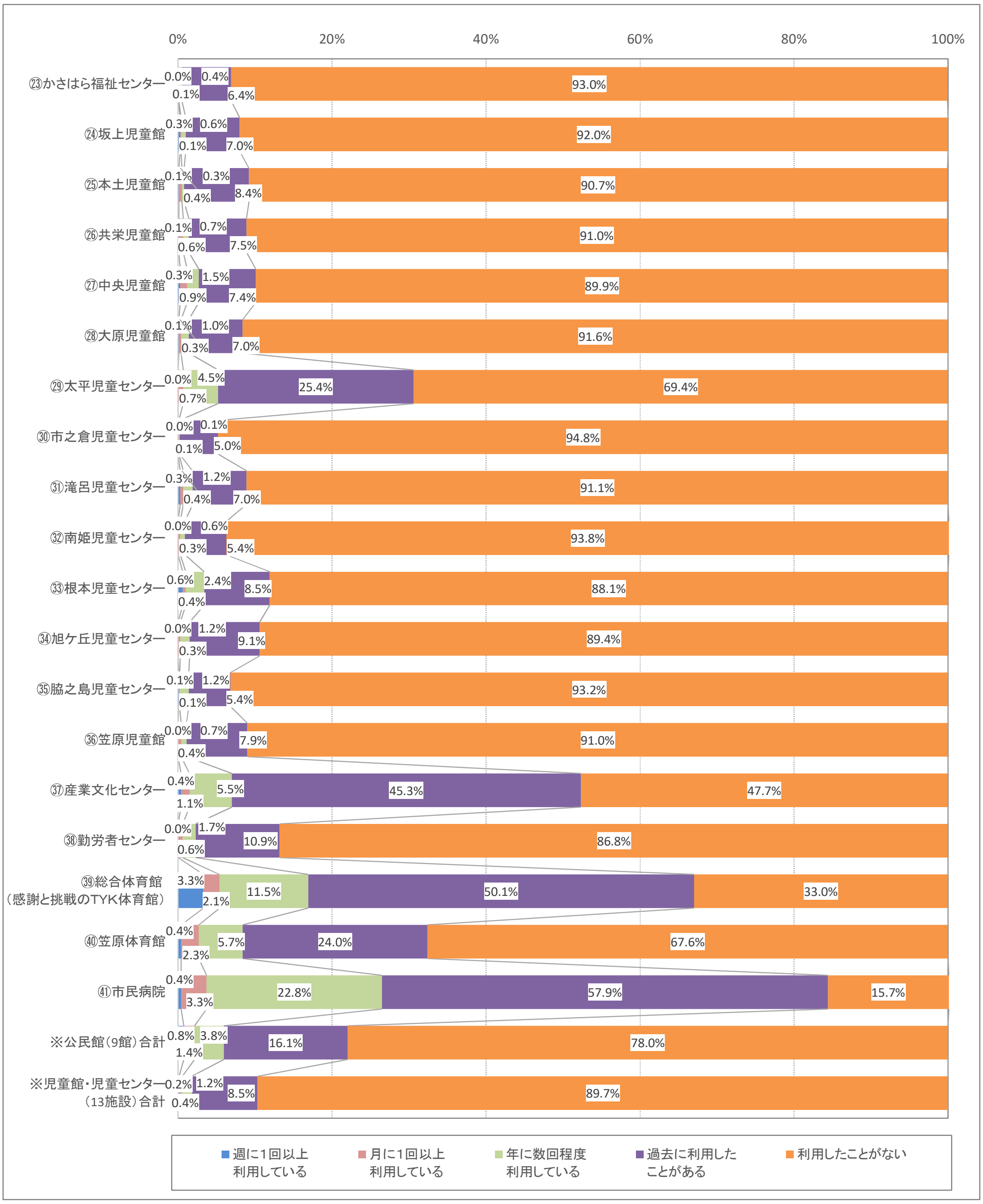


図 2-1 公共施設の利用状況（続き）



全施設でみると、大半の施設で「利用したことがない」が多く、最も多い施設は「滝呂老人福祉センター」の 95.1%、次いで「市之倉児童センター」の 94.8%、「南姫老人福祉センター」の 94.5%となっています。

「過去に利用したことがある」では、最も多い施設は「文化会館（バロー文化ホール）」の 58.1%、次いで「市民病院」の 57.9%、「総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）」の 50.1%となっています。

２．２　公共施設の現状や今後のあり方について

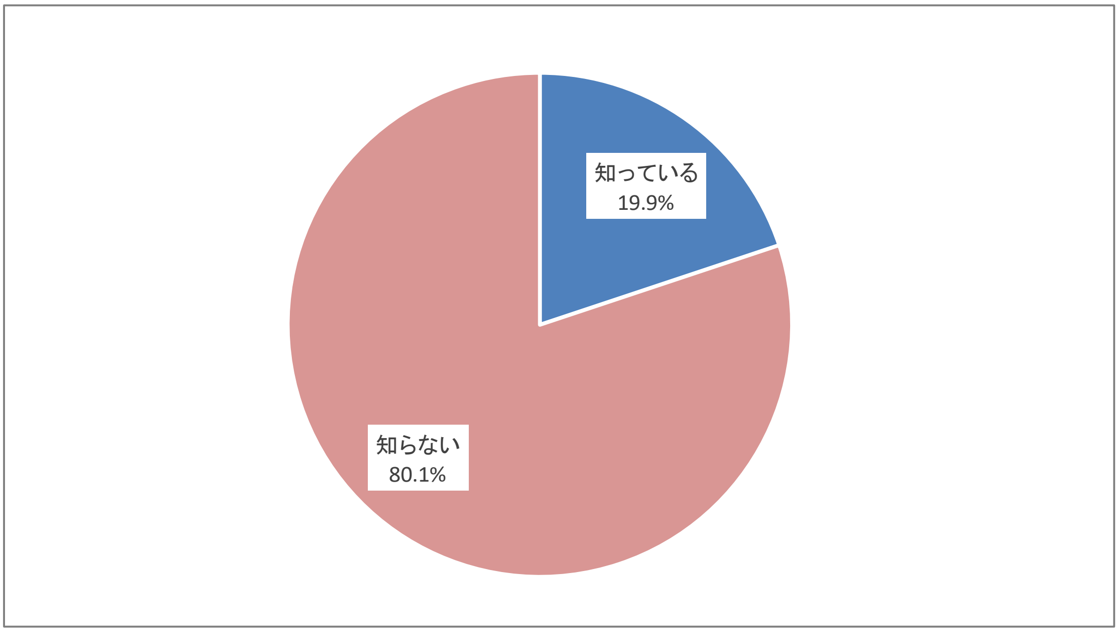
問７　公共施設マネジメントの周知

問７　多治見市が、公共施設を将来にわたり適切に管理していく取り組み（公共施設マネジメント）を進めていることをご存知ですか。当てはまる番号に〇印をつけてください。

図 2-2-1-1　公共施設マネジメントの周知

回答数	820

回答率	98.4%



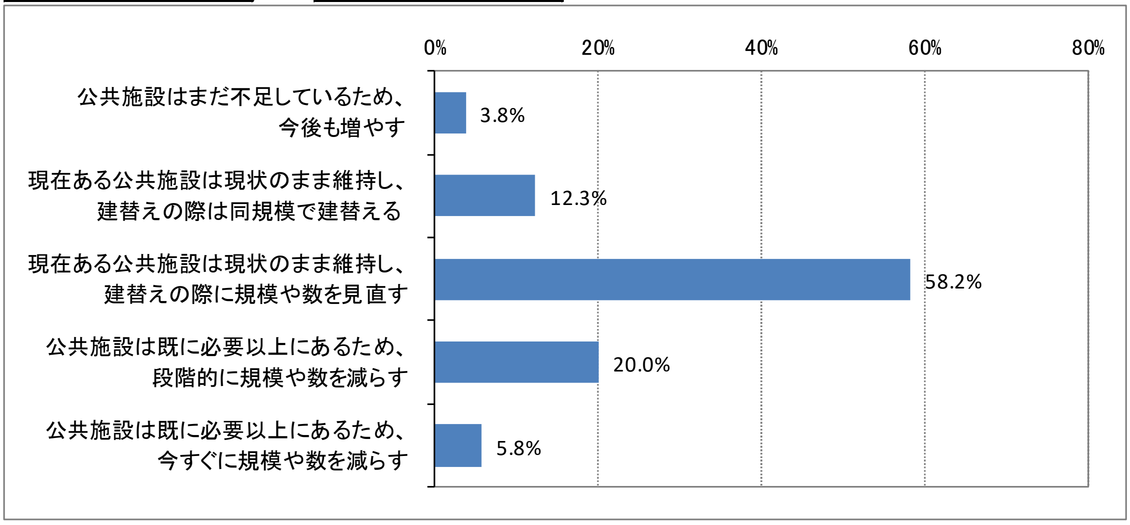
全体でみると、最も多い回答は、「知らない」の 80.1%、次いで「知っている」の 19.9%となっています。

問８　公共施設の整備を今後どのように進めていくべきか

問８　公共施設の整備について、今後どのように進めていくべきか、あなたの考えに最も近い番号を選び、○印をつけてください。

図 2-2-2-1　公共施設の整備を今後どのように進めていくべきか

回答数	815	回答率	97.8%



全体でみると、最も多い回答は、「現在ある公共施設は現状のまま維持し、建替えの際に規模や数を見直す」の 58.2%、次いで「公共施設は既に必要以上にあるため、段階的に規模や数を減らす」の 20.0%となっています。

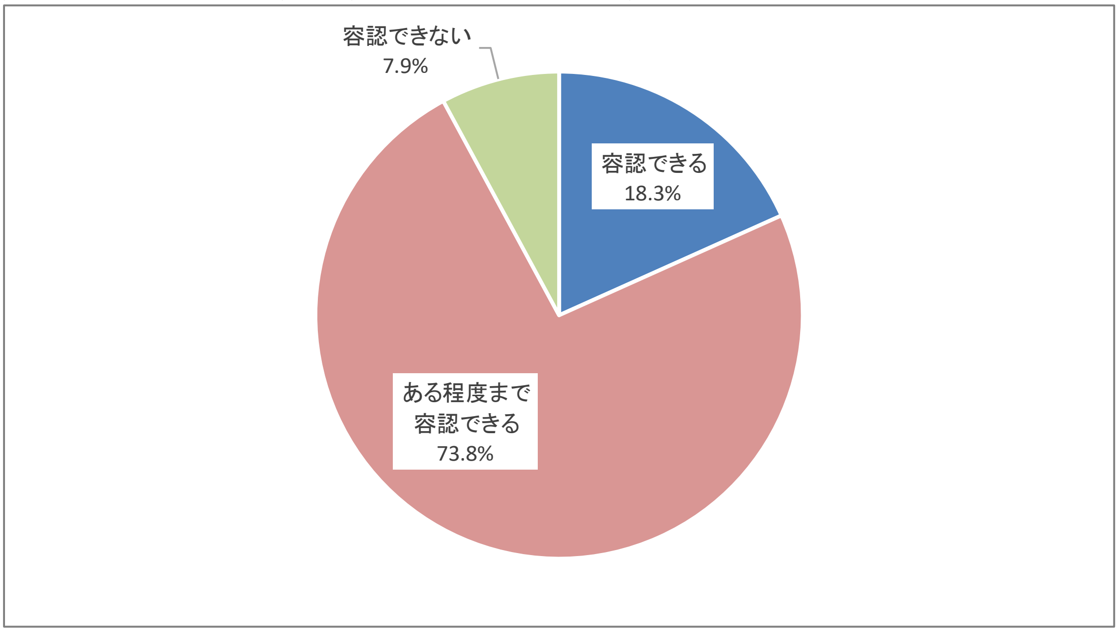
最も少ない回答は、「公共施設はまだ不足しているため、今後も増やす」の 3.8%、次いで「公共施設は既に必要以上にあるため、今すぐに規模や数を減らす」の 5.8%となっています。

問９　公共施設の利用停止や使用料の値上げを容認できるか

問９　今後公共施設マネジメントを進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対するあなたの考えに最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

図 2-2-3-1　公共施設の利用停止や使用料の値上げを容認できるか

回答数	821	回答率	98.6%



全体でみると、最も多い回答は、「ある程度まで容認できる」の 73.8%、次いで「容認できる」の 18.3%となっています。

最も少ない回答は、「容認できない」の 7.9%となっています。

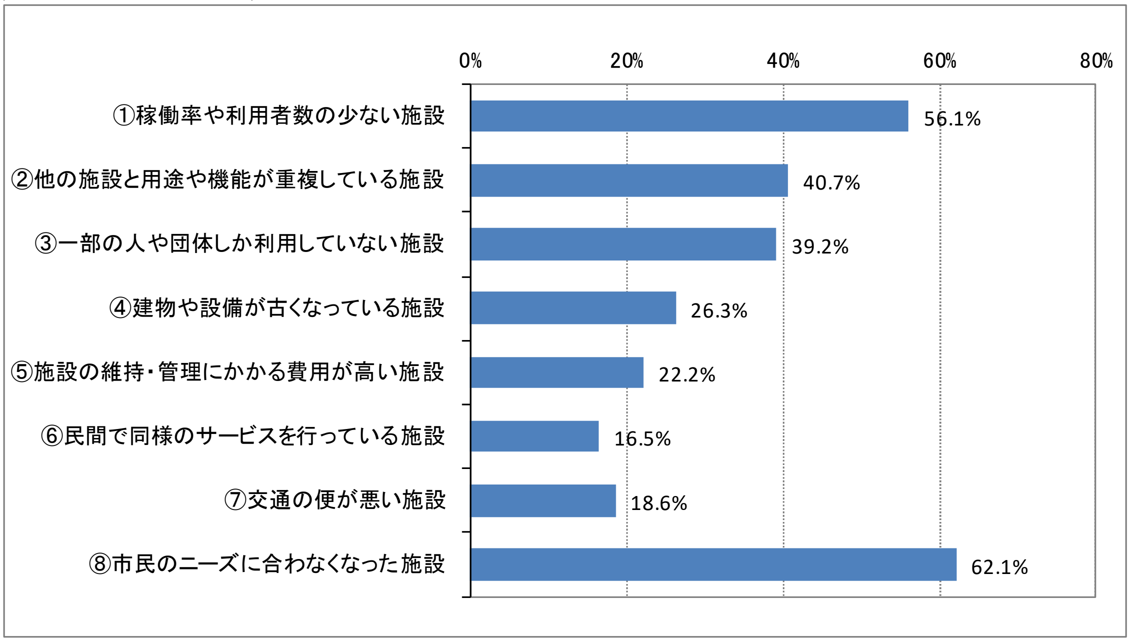
問１０　数や量を減らしてもよい公共施設

問１０　公共施設にかかる費用を減らすため、施設の数や量を減らすことになった場合、あなたが減らしてもよいと考える施設はどのような施設ですか。３つまで選び、○印をつけてください。

図 2-2-4-1　数や量を減らしてもよい公共施設

回答数	824
総回答数	2,321

回答率	98.9%



全体でみると、最も多い回答は、「市民のニーズに合わなくなった施設」の 62.1%、次いで「稼働率や利用者数の少ない施設」の 56.1%となっています。

最も少ない回答は、「民間で同様のサービスを行っている施設」の 16.5%、次いで「交通の便が悪い施設」の 18.6%となっています。

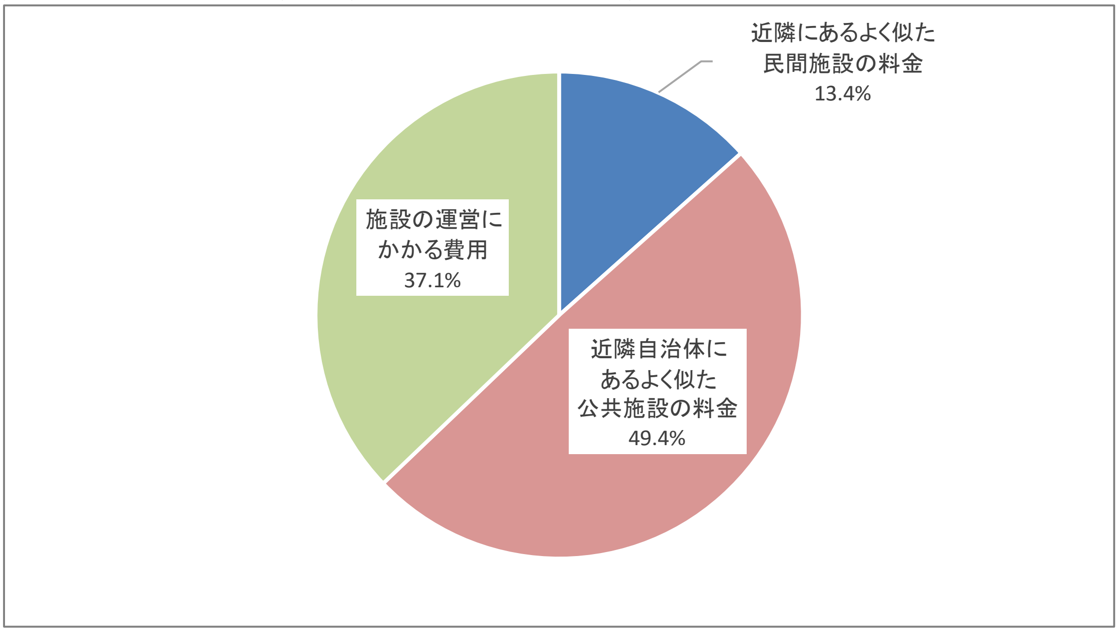
問１１　公共施設の使用料の基準

問１１　公共施設にかかる費用を減らすため、施設の使用料を上げることになった場合、使用料は何を基準に決めるべきですか。あなたの考えに最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

図 2-2-5-1 公共施設の使用料の基準

回答数	813

回答率	97.6%



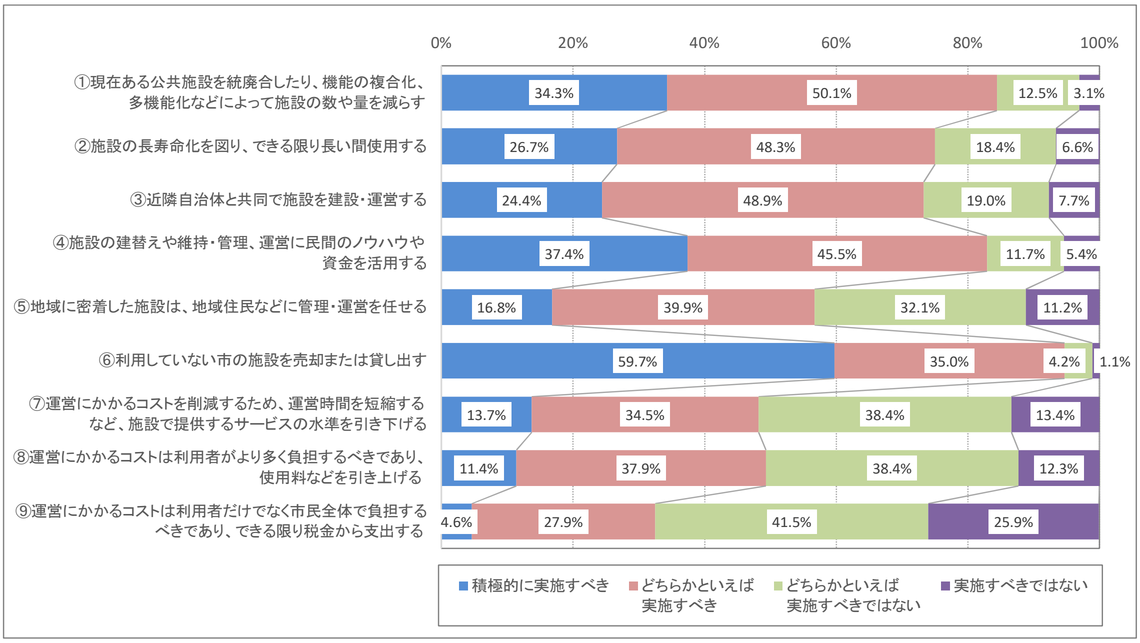
全体でみると、最も多い回答は、「近隣自治体にあるよく似た公共施設の料金」の 49.4%、次いで「施設の運営にかかる費用」の 37.1%となっています。

最も少ない回答は、「近隣にあるよく似た民間施設の料金」の 13.4%となっています。

問１２　公共施設の適切な管理のための対策

問１２　将来に備え公共施設を適切に管理するための対策について、それぞれあなたの考えに最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

図 2-2-6　公共施設の適切な管理のための対策



「現在ある公共施設を統廃合したり、機能の複合化、多機能化などによって施設の数や量を減らす」で最も多い回答は、「どちらかといえば実施すべき」の 50.1%、次いで「積極的に実施すべき」の 34.3%となっています。

「施設の長寿命化を図り、できる限り長い間使用する」では、「どちらかといえば実施すべき」の 48.3%、次いで「積極的に実施すべき」の 26.7%となっています。

「近隣自治体と共同で施設を建設・運営する」では、「どちらかといえば実施すべき」の 48.9%、次いで「積極的に実施すべき」の 24.4%となっています。

「施設の建替えや維持・管理、運営に民間のノウハウや資金を活用する」では、「どちらかといえば実施すべき」の 45.5%、次いで「積極的に実施すべき」の 37.4%となっています。

「地域に密着した施設は、地域住民などに管理・運営を任せる」では、「どちらかといえば実施すべき」の 39.9%、次いで「どちらかといえば実施すべきではない」の 32.1%となっています。

「利用していない市の施設を売却または貸し出す」では、「積極的に実施すべき」の 59.7%、次いで「どちらかといえば実施すべき」の 35.0%となっています。

「運営にかかるコストを削減するため、運営時間を短縮するなど、施設で提供するサービスの水準を引き下げる」では、「どちらかといえば実施すべきではない」の 38.4%、次いで「どちらかといえば実施すべき」の 34.5%となっています。

「運営にかかるコストは利用者がより多く負担するべきであり、使用料などを引き上げる」では、「どちらかといえば実施すべきではない」の 38.4%、次いで「どちらかといえば実施すべき」の 37.9%となっています。

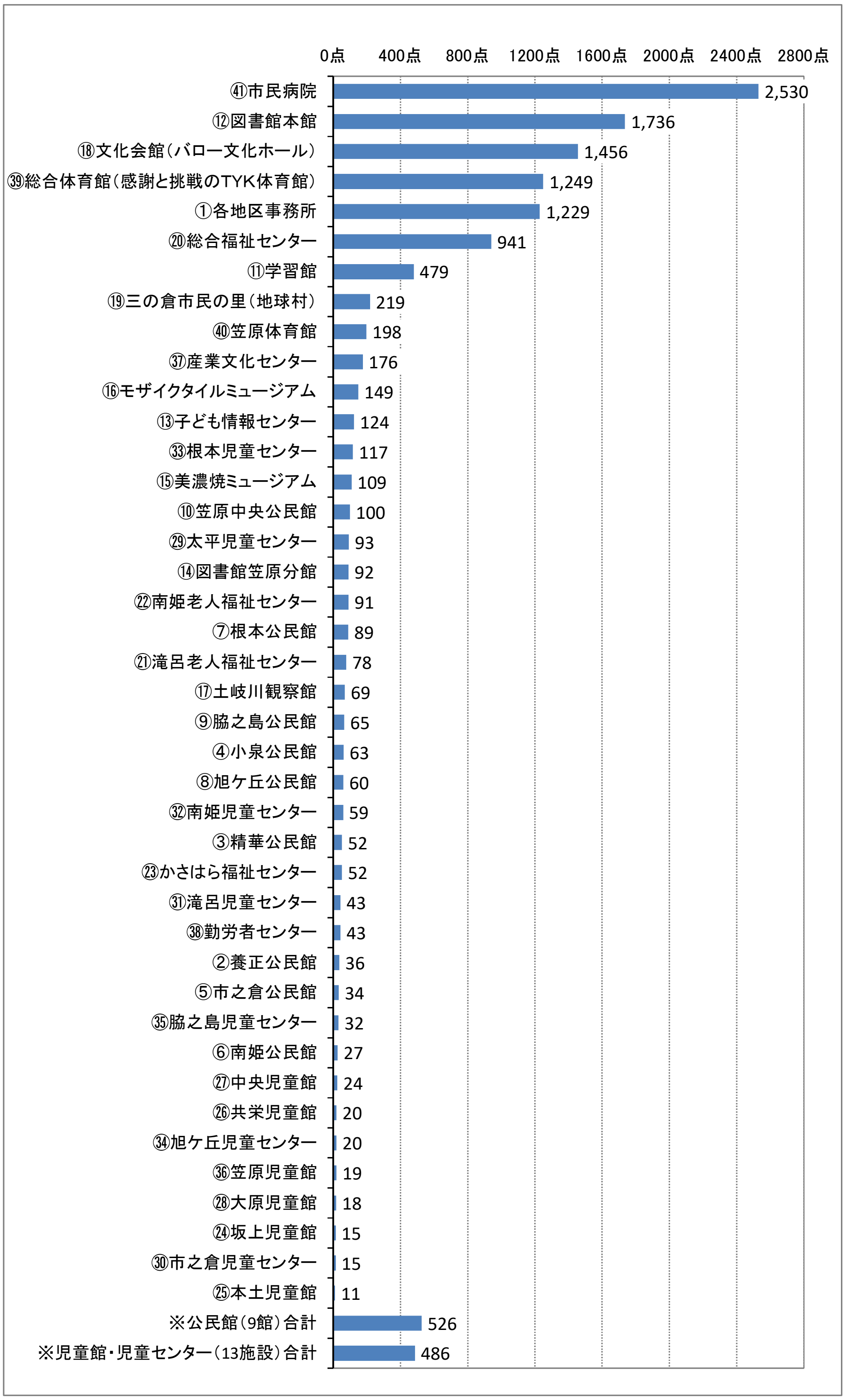
「運営にかかるコストは利用者だけでなく、市民全体で負担するべきであり、できる限り税金から支出する」では、「どちらかといえば実施すべきではない」の 41.5%、次いで「どちらかといえば実施すべき」の 27.9%となっています。

問１３　優先的に維持するべきと考える施設

問１３　不特定の市民が利用できる公共施設のうち、市が将来にわたって優先的に維持するべきとあなたが考える施設を５つ選び、優先順位をつけて番号をご記入ください。

※優先する順に１～５位を選択。１位＝５点、２位＝４点、３位＝３点、４位＝２点、５位＝１点と点数化し、順位を付けた。

図 2-2-16【得点順】優先的に維持するべきと考える施設

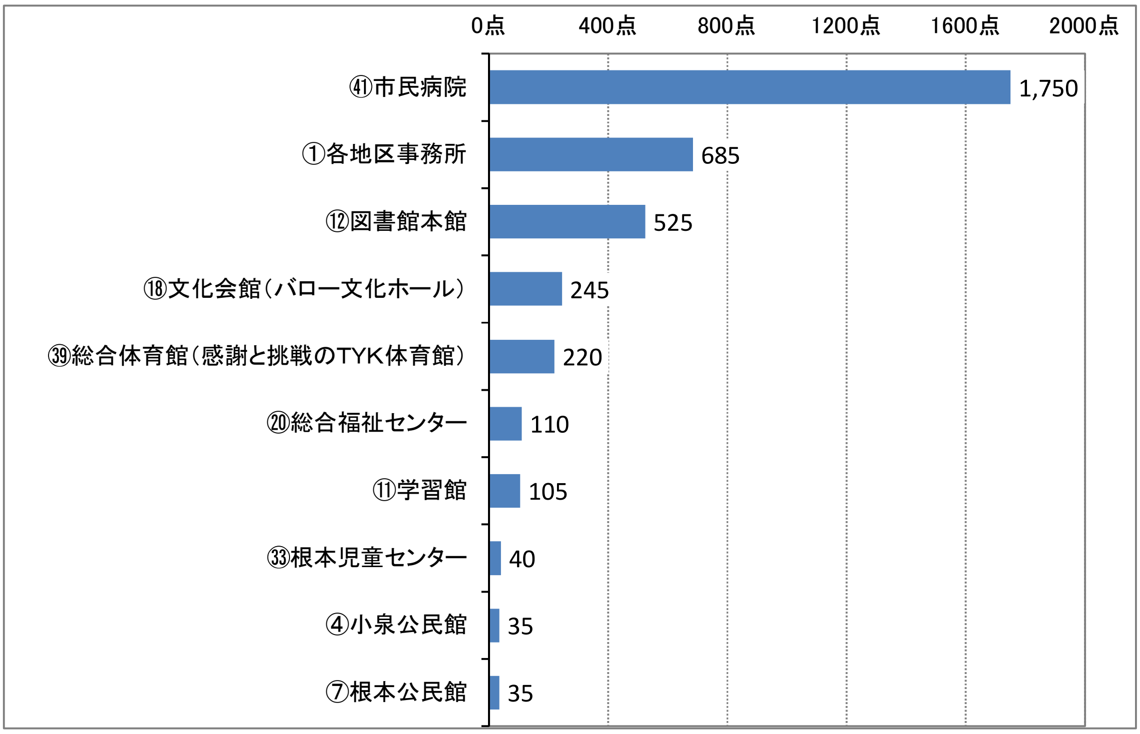


全体でみると、最も多い回答は、1位の「市民病院」の2530点、次いで2位の「図書館本館」の1736点、3位は「文化会館（バロー文化ホール)」の1456点、4位は「総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館)」の1249点、5位は「各地区事務所」の1229点となっています。

※公民館（9館）の合計は526点

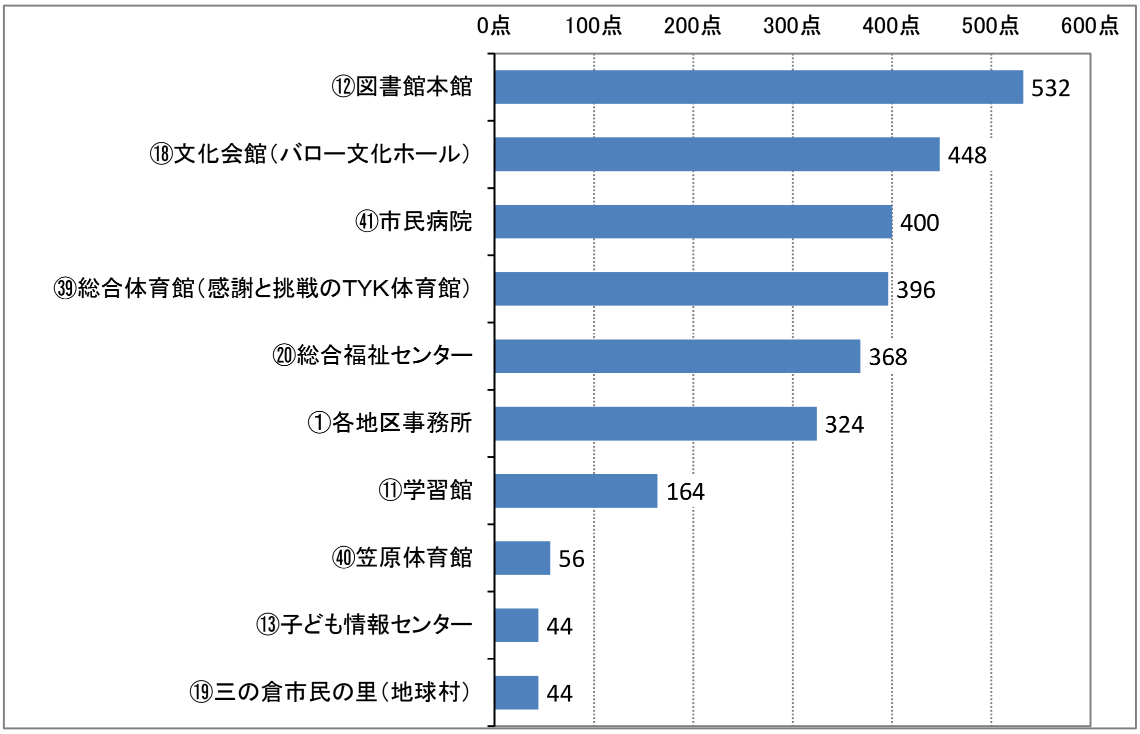
※児童館・児童センター（13施設）の合計は486点となっています。

図 2-2-17 【1 位】 優先的に維持するべきと考える施設(上位 10 施設)



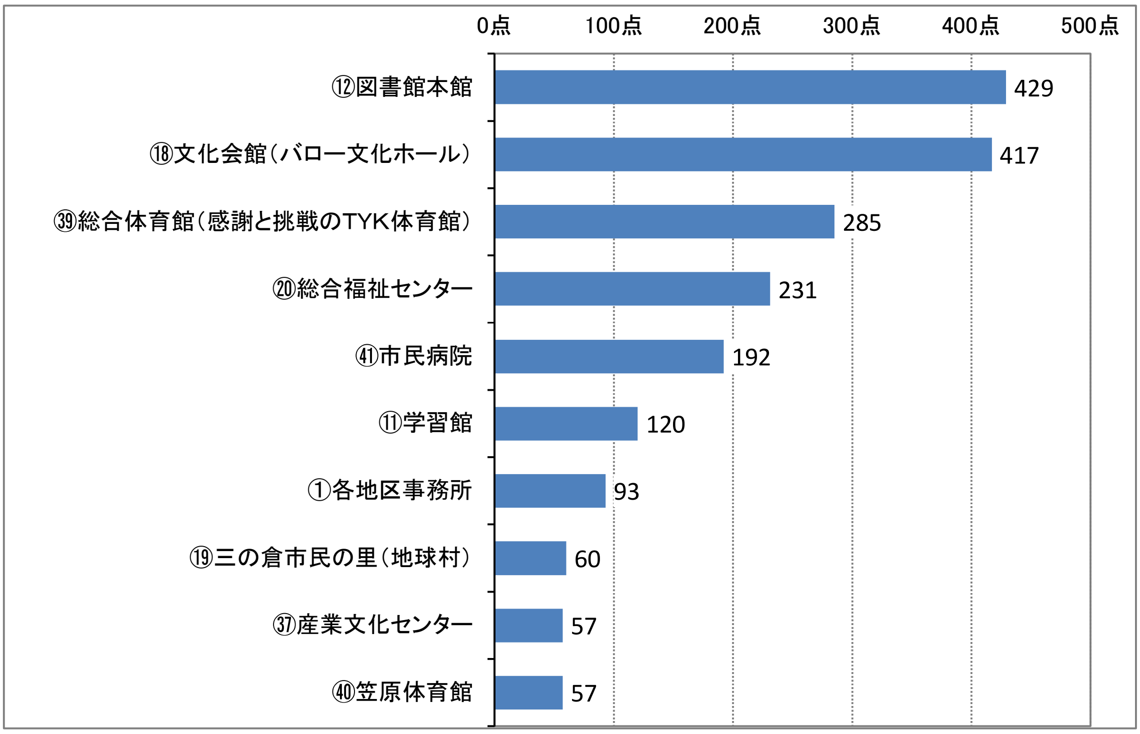
全体でみると、最も多い回答は、「市民病院」の 1750 点、次いで「各地区事務所」の 685 点、「図書館本館」の 525 点となっています。

図 2-2-18 【2 位】 優先的に維持するべきと考える施設(上位 10 施設)



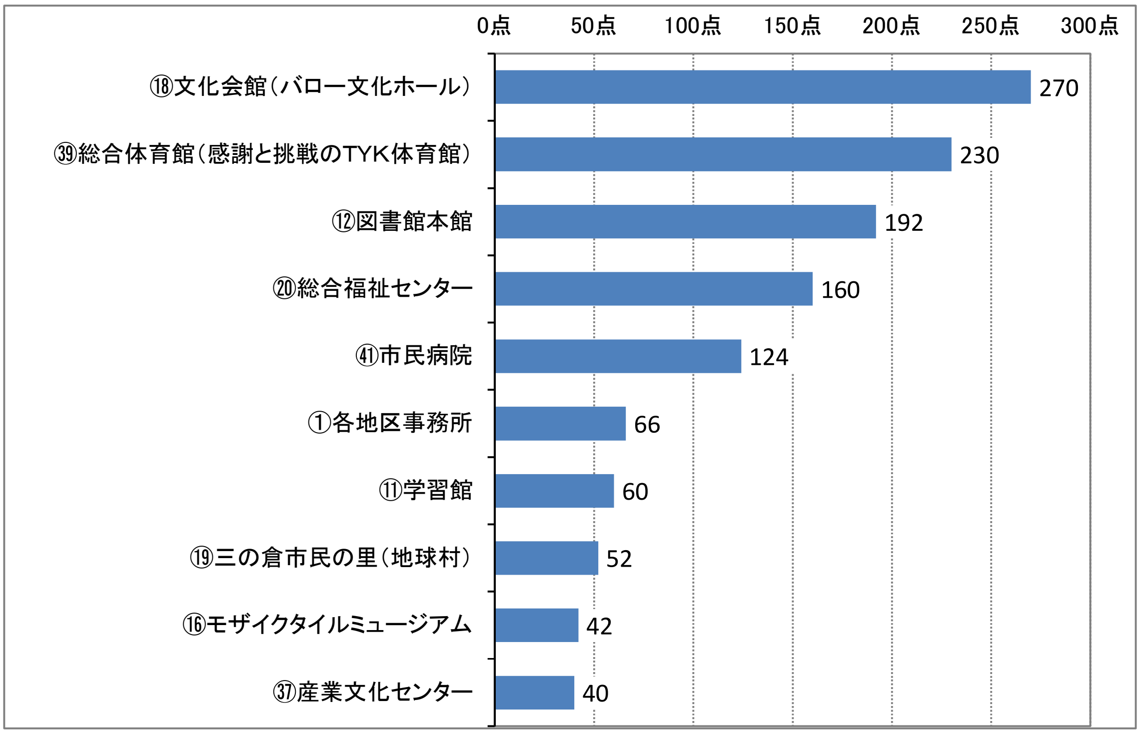
全体でみると、最も多い回答は、「図書館本館」の 532 点、次いで「文化会館(バロー文化ホール)」の 448 点、「市民病院」の 400 点となっています。

図 2-2-19 【3 位】 優先的に維持するべきと考える施設（上位 10 施設）



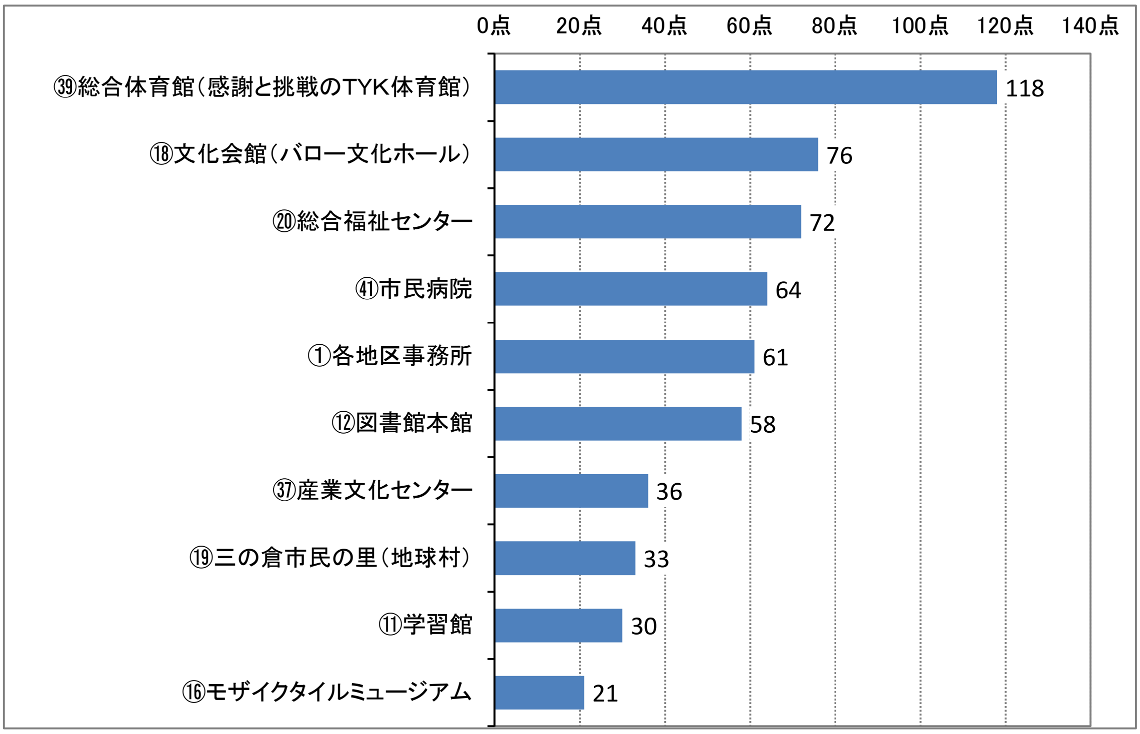
全体でみると、最も多い回答は、「図書館本館」の 429 点、次いで「文化会館（バロー文化ホール）」の 417 点、「総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）」の 285 点となっています。

図 2-2-20 【4 位】 優先的に維持するべきと考える施設（上位 10 施設）



全体でみると、最も多い回答は、「文化会館（バロー文化ホール）」の 270 点、次いで「総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）」の 230 点、「図書館本館」の 192 点となっています。

図 2-2-21 【5 位】 優先的に維持するべきと考える施設（上位 10 施設）



全体でみると、最も多い回答は、「総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）」の 118 点、次いで「文化会館（バロー文化ホール）」の 76 点、「総合福祉センター」の 72 点となっています。

問１４　施設の今後のあり方についてのご意見・ご提案
※同じ趣旨の意見は内容に差し障りがない範囲でまとめ、（）内に件数を記しました。
※特定の個人に対する意見は省いています。
※公共施設に関する意見だけを掲載しています。

１．公共施設マネジメントに対する意見

(1)マネジメント全般について

◆市民のために本当に必要な施設は、費用をかけすぎず維持して欲しい。（5）
◆老朽化した施設は計画的に修繕するべき。多くの人が安全に使いやすいようにして欲しい。（4）
◆災害時の避難施設としても公共施設は必要である。（4）
◆公共施設は社会構造の変化や市民ニーズの多様性を視野に入れて検討すべき。一方で、変化にとらわれず将来に渡って維持するべきものもある。（3）
◆財政が苦しい時こそ、税金の使い方に無駄のない施設運営をして欲しい。（3）
◆住みやすく魅力ある多治見を考えると、子育て支援、福祉、文化に関わる施設は優先的に考えて欲しい。（3）
◆公共施設は特定の人が継続的に使用するのみでなく、近隣住民や学校などと協力して市民全般が利用すれば維持継続が容易と考えられる。（2）
◆公共施設は、金銭に余裕がない人でも安く、安全・安心に利用できる所だと考える。ないと本当に困る人がいるならば、みんなで支えるべき。（2）
◆公共施設にかかる将来の維持・更新費用をどのように見積もっていたのか、なぜ財源が足らなくなったかを振り返り、今後の計画に活かすことが大切。（3）
◆次の世代に負担をかけないよう、維持費のかかる施設は造らないで欲しい。（2）
◆利用する人には必要であるが、利用しない人には不要である。よく調べた上で税金の無駄使いはしないようにして欲しい。（2）
◆地域によっては少子化・高齢化がより進み、施設利用人数も減ると思う。例え非効率でも、行政には地域性も考慮して精査して欲しい。（2）
◆岐阜市立図書館のように、幅広い年代の人が利用したくなるような施設ができると良い。市と民間企業と共同で人が多く集まるような施設にしていけば良いのではないか。（2）
◆人口と全体の税収減少で先が案じられる。現在の施設、管理、運営方法に一考ありと思う。
◆運営・管理の費用が正しく使用され、効果があることが重要。
◆公共施設が赤字経営となると市の財政を圧迫し、施設を減らし良い公共サービスは提供できない。財政が豊かな市を目指して欲しい。
◆公共施設の多さや維持管理費への税金投入はムダ遣いそのものである。
◆財政は行政にとって最優先されることだが、各施設の内容を見直し充実させていくことで、まだまだ維持できる施設も多いと思う。
◆長期の税収と、継続して使える費用と施設ごとの維持費を算出し、維持できるものとできないものに色分けして再考するべき。

◆長期的な視野に立ち、新設、建替え、大規模修繕の計画を立て、費用の平準化を図って欲しい。

◆長期的展望に基づいた公共施設の改良は当然に実施すべき対策です。状況を精査の上、計画的に対応いただくことを希望する。

◆民間でコストを下げて施設を運営できているのに、なぜ市でそれができないのか。職員は高い給料の人ばかりで、コストを抑えられるような能率的な仕事をできる人がいないのか。

◆公共施設は費用がかかるという一面だけでなく、サービスが多治見市の「住みやすさ」「住んでいる誇り」になるという一面も必ずある。多治見市は“住みやすく魅力あるまち”をPR して、人口減少への対策に繋げることができれば、縮小・廃止だけではない議論もできるのではないか。

◆公共施設は、民間では行っていないことや採算が合わないこともあるので、見直すのも難しいと思う。しかし、財政への影響を考えると少しずつでも質・量を考えていく必要はある。

◆公共でしかできない施設（公立学校、市民ホール、市民体育館など）を中心に維持管理すべき。

◆少子化・高齢化が進む中で、様々な面で変えていかざるを得ないと思うが、民間ではなく“公共の”ということをしっかり踏まえて、対応していって欲しい。

◆民間と競合するようなサービスは廃止し、地域と密接に関係を図っていくサービスが望まれる。

◆公共施設はまちのカラーとも言えるもので、充実したものにしていくことが必要だと思う。民間のノウハウによる充実したサービスには学ぶべき点も多々ある。税金をできるだけ使わず充実した運営を行うことは、ボランティア制度の充実を図ることが解決する糸口となるのではないか。少しずつボランティア精神の啓蒙から始め、制度を充実させることで、将来「このまちでは、こんなこともボランティアでやってますよ。」と言えるようになることを期待したい。

◆高齢者や、子どものいない人でも利用できる空間だと嬉しい。

◆これから高齢化社会になっていくため、お年寄りに優しいまちであって欲しい。近くの施設がなくなって困るようなことがあれば、何かフォローする策も考えて欲しい。

◆子育てに優しいまちであって欲しい。ママや子ども、老人のための施設を充実させて欲しい。愛着を持って利用してくれている人の意見を一番大切に考えてください。

◆子どもやお年寄りは、危ない行動とか体が思うようにならなかったりするので、元気な年代の方々で見守っていただけると助かる。子どもたちは宝です。お年寄りも今までの経験を生かして知恵を貸していただく大切な存在です。公共施設はそういう皆を結びつける大事な場所だと思う。中心地以外に住んでいる人も施設を利用しやすいように、少し減らしても行きやすい何かを考えて欲しい。

◆現状で増えるのは高齢者だが、当然若い時のように働くことも難しく、年金も当てにならない中で憩いの場が最低限必要かと思う。近場にあるものは何とか残して欲しい。

◆文化会館や総合体育館などでのイベント誘致も必須であり、若者にとっても魅力あるまちづくりを求める。

◆いろいろな講座の開講や、子どもの交流の場、病院などは開かれるべきだと思う。
◆地区事務所や子育て支援に関する施設は、開館時間や曜日を減らしても残して欲しい。
◆運営時間を短縮する前に、その施設で働く者の生産性の向上に取り組むこと。
◆多治見は田舎なので、公共施設に頼らないと文化水準が下がると思う。子どもの成長や市民の生活の充実のために、公共施設を切り捨てるべきではないと思う。
◆公民館なども連携してその地域のコミュニティーを大切にするのが必要な時だから、縮小よりも充実させるべきだと思う。
◆無理して建物を建てたり観光地化せず、住みやすければ何も問題はない。建物を壊すのにも費用がかかるので、施設内が最新式になれば良いと思う。
◆笠原地区だけ他の地域より施設が整いすぎている。場所が市の中心部から離れているため、一部の人たちしか利用していないのではと思う。
◆ネーミングライツなどを積極的に利用して新しい施設も造っていけると良い。
◆文化会館、総合体育館のネーミングライツは、道路上にある看板の書き直しなど無駄なことも多い気がする。
◆産業文化センター、まなびパーク1階のスペースなど、あまり有効利用されていない場所も上手く利用できるように変われると良い。
◆公共施設は必要ではあるが、規模によると思う。何年先、何十年先を見据えて、小さくて使いやすいコンパクトな複合型施設を皆さんの知恵を出して頑張ってください。
◆東濃地域、岐阜エリアにおいてナンバーワン・ オンリーワン的な施設と、1 日過ごせるような商業施設を合わせた複合施設を希望する。
◆陶芸がやりたくて多治見へやってきた若者たちはいる。多くのスペースが必要となる陶芸がまちの一番の特徴である以上、空いた屋根付きの建物を安く貸し出すことで、施設を維持・管理する手段にすると良いと思う。
◆こけいざん森の家（元勤労青少年ホーム）のように、廃止が決定しても市民に愛され続けている所もある。読み間違えをしないでください。
◆こけいざん森の家は、本来の役目を終えて現在は民間の一部の利用者に提供しているようですが、明け渡しのことで問題になっているそうです。施設の負担も市が出しており、建物も老朽化しており、絶対に明け渡してもらい取り壊しが必要と考える。
◆今後、新設や建て替える施設などは、東濃三市で共同で管理運営することも考えてはどうか。
◆公共施設を維持管理するには、各種の免状を交付されている人が勤務されていると良いと思う。例えば、電気工事士、消防設備、危険物、冷凍機械、冷凍空調技士など。省エネに関する案も出るかも知れません。
◆古い施設は障がい者には特に優しくない環境である。
◆耐震工事のついでに減築工事をして規模を縮小するという方法もあるようです。
◆将来長く市民病院や地区事務所が利用できるようにして欲しい。
◆多治見市ならではの公共施設の維持をして欲しい。
◆公共施設は市民にとって大切な場所です。
◆多治見にはろくな公共施設がないと常に思っている。
◆公共施設の老朽化は、今の多治見市ではそれほど問題はないように思う。

◆多治見の公共施設の現状がこんなに大変だとは知らなくてビックリしました。対策を早急にして欲しい。

⑵民間活用について

◆施設の運営に民間活力を積極的に導入することで、コストを抑えつつ市民サービスを維持して欲しい。（11）
◆施設を維持するために民営的な発想が必要。民間への売却・移管、第三セクターによる運営なども検討して欲しい。（3）
◆同じ場所に住んでいても、子どもの成長とともに利用する施設は変化すると思う。民間に運営を任せるなどが必要かと思う。
◆公共施設の統廃合は必須であり、民間や地域での管理へ移行させていくべきと考える。
◆民間に委託すれば金額的には安くなるが、良いことばかりでもないと思う。

⑶管理費・使用料について

◆特定の利用者のみが利用している公共施設は、できる限り受益者負担とするべき。（3）
◆施設維持のために運営費などの支出を減らすのではなく、施設の中にテナントや複合施設などを入れ賃貸料を徴収する運営方法も検討するべき。（3）
◆施設やサービス維持を目的とした利用料の値上げは、結果的に利用者の減少を招く恐れがある。（2）
◆施設使用料を市民と市外の人とで変えて欲しい。
◆市民が使いやすい料金で続けて欲しい。
◆各施設の維持を考えると、使用料の値上げも仕方ないと思う。
◆費用面は合理的に検討して問題ないと思う。
◆市民だけでなく、近隣からも利用できるようにしたらどうか。
◆少ない経費で運営し、利用者の満足度は満たすことを追求して欲しい。
◆公共施設の利用料金に法外な料金というのはほとんどないはず。注意はあって良いと思う。

⑷統廃合について

◆稼働率が低く利用者の偏りのある施設は統廃合を行い、市の財政と市民ニーズに見合った最小限の施設を維持・管理する。（17）
◆全ての年代の人が利用し、交流できるように、今ある公民館、児童館、児童センターなどを複合化・多機能化する。（17）
◆施設を必要とする住民の割合によって、統廃合や建替えを検討していく必要がある。(3)
◆今ある施設の全てを同じように維持することが困難ならば、用途や機能が重複している施設の統廃合はやむを得ないと思う。（4）
◆人口規模に比べ公共施設が多い。中学校区単位での見直しはどうか。（2）
◆公共施設は、地域に原則１カ所の複合施設として管理したら良い。（2）
◆市民ニーズや維持費により施設を削減されると、市民の文化、運動、地域活動ができなくなってしまう。市民の交流の場が減るのは残念。（2）

◆施設の廃止があったとしても、今後も維持する施設は利用者の意見を聞いて需要に合ったものであって欲しい。（2）
◆教育・文化・スポーツ・健康・福祉は必須です。利用頻度の多い施設を重点に考え、統廃合するべき。
◆障がい者や高齢者のためにも、福祉・医療・就労に関する施設は市民全員に関わることなので民間のように経費ありきで考えてはいけない。ないと生活に困るという施設以外は、見直す必要がある。
◆市民全員が利用している施設は少ないため、一部の人しか利用してないからといって削減するのはおかしいと思う。
◆交通の便が悪い場所にある施設は必要最小限に残し、多治見駅周辺などの中心部に統合していってはどうか。
◆交通手段があれば、施設の統合もあって良いのではないか。中心部だけでなく周辺地域にもバスが通るとありがたいです。
◆統廃合は施設の耐久度が低下したタイミングで、何度か現場視察を行った上でやって欲しい。また、稼働率や採算性を市民に公表して意見を募る手法もあると思う。
◆今後、公共施設を今の3 分の2 程度削減し、大きな施設を2 カ所くらい建て、図書館、スポーツ施設、福祉などをまとめて効率良く運営した方が、多治見市の未来（若い世代）の発展のためになるかと思う。
◆施設を削減する場合、利用者数などから郊外の施設が対象になりやすいと思う。そうなればますます中心部に偏ることになり、魅力ある多治見には繋がらない。
◆人口や財政の推移より公共施設の統廃合を行うべきと考えるが、どれをどのように行うかはバランスが大切だと思う。
◆人口11 万余りの都市がこれらの施設でイベントを行い、維持ができるのか考えなくても分かる。公共施設は減らすべき。
◆公共性の高いものは残すべきではあるが、建替えや大規模修繕が必要な時こそ、その建物が必要かどうか、市民の意見を聞いて欲しい。
◆施設の近隣住民からも話を聞いて、改善の余地があるかどうか、これからも残していくべき施設かどうかをしっかり吟味する必要がある。
◆必要・不要の判断は、使ったことのある人の方が良いと思う。
◆地域に密着した施設は、無くならないようにして欲しい。
◆何にも使われていない建物をそのまま放置しておくより、新しい施設を造ればまちが活性化されると思う。
◆既存の公共施設の標準建築物を決めて、リノベーションモデルと比較改善する。
◆文化会館と産業文化センター、図書館の複合化。

⑸その他
◆利用者を増やすための努力は必要。各施設の情報提供、イベントの告知など、もっとアピールして欲しい。（10）
◆公共施設や駅を利用しやすいよう、不便な所にもバスの本数を増やし路線を効率良く運行するべき。（6）

◆統廃合で新しい施設を造る場合、公共交通機関が利用できることと、駐車スペースを広く確保して欲しい。（6）
◆車が運転できなくても、公共交通機関で訪れることができる施設であるのが望ましい。（4）
◆全般的に施設の駐車スペースが狭い。または、不足していて不便を感じる。（4）
◆車がなくても生活しやすいまちづくりをして、動線上に公共施設が整備されると良い。（2）
◆施設をあまり利用していないので分からない。（2）
◆施設の予約の仕方を改善して欲しい。（ネット予約、市民優先予約など）（3）
◆多くの公共施設があっても、利用したことのない施設の方が圧倒的に多いと思う。（2）
◆ペットが遊べる施設が欲しい。（2）
◆ＪＡなどと協力して「道の駅」を造って欲しい。
◆依存症回復に繋がる窓口のある公共施設が欲しい。
◆廃棄物処理施設（三の倉センター、大畑センター）は正午から午後1時まで休みだが、交替で休めば良いと思う。
◆100 年後にどんな多治見市であるべきか、ビジョンの共有が大切だと思う。
◆今後、多治見市は良いまちとして生き残らなければならない。そのためには、子どものための良い学校、市民のための良い病院が重要。市民が生きがいをもって暮らせるよう、新しい展開を期待できなければならない。枝葉末節の部分は大半を使用者に任せ、骨太に戦略を推進するべき。
◆公共施設をこれ以上増やすことより、ニーズに応じたサービスに力を入れる。そのために市民の動き、声を十分に聞くべきである。
◆人口が多い地域ばかりが栄えて整備費を必要としているのは不公平ではないか。大規模な都市開発（駅）ばかりではなく、多治見市の将来を見据えた開発を望む。
◆公共施設の分の予算を、道路の渋滞対策のような多くの市民が望んでいることに回していただきたいです。
◆駅北の誰も行かない建物や駅南の再開発、そちらの方が要らないのではないか。今あるものを大事に使っていった方が良い。
◆どこの自治体も一般企業とは違って危機感が持てていないのではないか。空調の温度を低く設定すれば良いというものではないと思う。この10 年で職員数を30%削減したと資料に書いてあったが、便利な世の中になり機械で何でもできる世の中なので、生産性向上は普通だと思う。
◆IT の積極的活用で間接部門の固定費を削減できるのではないか。（施設運営費の捻出）
◆カルチャー事業は縮小して、民間活力による運営で良いです。
◆高齢者の健康寿命の維持に努めることは、保険医療費の増加を抑制できるという観点から、趣味、スポーツを継続してできる施設の確保は重要だと思う。1 人1 回、2～3 時間の利用で、個人の負担が500 円程度が現状望ましいラインかと思う。講師謝礼も含めると、やはり公共施設の利用は欠かせない。
◆公共施設のあり方とともに、インフラ設備の整備もこれからのあり方について見直し考えていくべき。

◆時代、居住のニーズなど、検討する項目は多種あると思う。
◆他の施設には関心はないですが、年代に合った運営をしてください。
◆今まで、投票と支所くらいしか公共施設を利用したことがない。この先、年を取りどう利用していくのか、今のところ見当がつかない。
◆公共施設を利用できる時間に仕事をしている人は、利用したくてもできないことが多い。時間帯と曜日も考えて欲しい。
◆今は仕事が有り、暇がなく公共施設に行くことはありませんが、今後は仕事を辞めれば行くことができるようになると思う。
◆高齢者に近づいている者として、今もいろいろと施設を利用させてもらいありがたく思っている。縮小しても今までのように利用させてもらいます。
◆公共施設を利用する際、どこに行ってもいつも駐車場に悩む。小さな子ども連れや、高齢者などが優先的に駐車できると大変助かります。
◆施設利用者の駐車場の有料化の検討。
◆多治見市外から人を呼ぶためには、名古屋方面からの利用者に対する動線が少ない。
◆多治見市の公共施設は、立地的に分かりづらい場所にあることが多いので、周辺のアクセスを含めて検討して欲しい。
◆駐車場が広い図書館があるとありがたいです。
◆まなびパークの駐車場が不便だと思う。
◆施設の数が少なくなると、どうしても予約が取りづらくなると思う。
◆この公共施設はどこの管轄・地区の施設だからという考え方でなく、空いていたら誰でも使えるようにしたらどうか。
◆余った施設やスペースは貸し出したり、イベント時にはスペースを区切って使用料を取ると良い。
◆市民は安く利用できるなどの特典を設け、利用しやすい環境であると良いです。
◆施設の利用の仕方（部屋・物品などの借り方、駐車スペース、利用可能日など）が分かりづらい。初めて利用しようとして戸惑ったことがある。
◆もっと各施設がどのような働きをしているかを市民が知る機会が増えると良いと思う。

２．各施設種別に対する意見

(1) 行政系施設について

◆市役所を本庁舎と駅北庁舎の2 つに分けたことで不便になり、維持費や人件費の無駄が多いと思う。 (5)
◆市役所駅北庁舎を駅前に建設すべきだったのか疑問。上階に居住区などを建築したり、民間に賃貸して収入増を図るなど考慮するべきだったと思う。 (3)
◆利用の少ない地区事務所は廃止し、役所に統合、または消防署などに窓口を設置し、時間帯を広げると良い。 (3)
◆地区事務所は人員が必要となるので、もっと効果・効率を考えて設置するべき。
◆各地区事務所は、高齢化を考えると近くにあった方が良い。
◆市の重要施設は、多治見駅付近など利便性を考慮して計画したらどうか。

◆市役所駅北庁舎は、駐車場の数が本庁舎に比べて少なすぎるように感じる。東濃は県下でも車の数が多いとされていることから、併設される駐車場についても考えていく必要がある。
◆市役所駅北庁舎の利便性向上とともに公共施設を統廃合する手法もあると思う。
◆市役所駅北庁舎を新設すべきではなかった。税金を使わない行政システムを作り上げるべきだと思う。人工知能やIT をもっと導入して、人件費を減らすべき。
◆あんなにキレイな市役所は不要だと思う。職員が仕事をしやすいだけで、市民には関係なし。

(2) 市民文化系施設について

◆滝呂地区には公民館がないので建設して欲しい。公共でしかできないものについては、維持費がかかっても市が設置・管理していくべきである。 (3)
◆公民館はどこも一部の固定した人たちのものになっている。
◆公民館の図書室なんかやめれば良い。娯楽的図書など自分で買えば良い。
◆公共の建物を安い利用料で使って講師が利益を得ているものが多いように思う。もっと利用許可を厳しくした方がいいのではないか。講師が会費を決めて徴収しており、同好会幹事が会費を集めて講師料を支払うという形ではない。講師もそんなに上等な人でない会もある。
◆高校生の子どもは家では落ち着いて勉強ができないので、夜遅くまで開いている近くの公民館を利用させていただき助かっている。
◆高齢化が進む中で公民館は必要と思われるが、利用率の少ない所を税金を使って維持するのはいかがなものかと感じる。
◆地域の高齢者にとって公民館は交流の場となっている。老朽化のために取りやめてしまうことはできる限りやめて欲しい。
◆公民館の職員は常時4～5 人おり、人数が多いのではないか。受付の対応だけに座っていて、館内で積極的に動いている様子を見かけません。また、館内の掃除も別に雇うのではなく、職員の方が交代でしたらどうか。夜も9 時半まででなく時間の短縮、人件費の削減など、節約して欲しい。
◆公民館と集会所の役割分担が明確でないように思う。将来の財政破綻を招くことのないよう、今からしっかり備えていって欲しい。
◆養正公民館をサークルで月に6 回使用しているが、安い利用料金で借りられることもあり非常に助かっている。
◆根本交流センターでは、雨の日は孫を遊ばせ、私たち夫婦はスポーツや読書を楽しめ、市への届出やスポーツ施設への支払いもセンター1カ所で済ますことができ、頼りにしている。
◆図書館本館は非常に蔵書数が多く、今後も充実させて欲しい。
◆多治見に図書館（まなびパーク内）があるのを大変嬉しく思っている。カウンターの女性職員の方も、いつも丁寧に対応してもらえてありがたい。これからも素敵な本が増え、多治見にとっての素敵な場所になって欲しい。

◆図書館をよく利用し、内容もスタッフも良く素晴らしいと思っている。土日の閉館時間が午後6時で、せめて土曜日だけでも平日と同じ閉館時間（午後8時）にはできないでしょうか。

◆学習館が勉強できる環境ではありません。1 人1 人の席をセパレートにして欲しい。

◆図書館（学習館を併設）施設は、各地区に積極的に設置して欲しい。即効性の期待できない施設であるが、文明文化を語らう若人を育てて欲しい。公共で事業を展開して欲しい。

◆高校時代も今も、ほぼ毎日まなびパークで勉強している。浪人生全てが予備校に通うことはできず、自宅で勉強しながらまなびパークでも勉強することでモチベーションが保ててとてもありがたい。開放時間が午前9 時から10 時になってしまい残念です。貴重品を落としてしまった時がありましたが、保管して連絡をしていただきとても助かりました。

◆まなびパーク1階のテーブルの所は時間帯によっては学生の勉強場所などになっていて、本来の機能を果たしていないように思われる。

◆図書館笠原分館は、看板も無くどこにあるのかも分かりませんでした。行ってみたらとても利用しやすかったのでもったいないと思う。

◆図書館笠原分館を利用しているが、駐車場がいつもいっぱいで不便である。

◆子ども情報センターは午前は人がたくさんいますが、午後は少ないように思う。人の利用の少ない時間は開いていなくてもいいのではないか。三の倉市民の里（地球村）もシーズンオフはオープンしなくても良いと思う。どちらも素敵な施設なので、運営スタイルを変えるなどして残して欲しい。

◆モザイクタイルミュージアムはとてもステキな建物で、SNS で大人気です。入場料も300円で入りやすい。ただ、展示の内容が薄く感じるのでもう少し工夫すればリピーターが増えると思う。

◆モザイクタイルミュージアムがメディアでたくさん取り上げられていて、“日本一暑いまち”の他にも知名度が上がり、喜ばしいことと思っています。観光客の方がたくさん来ることによる経済効果を望む。

◆モザイクタイルミュージアムの料金を上げる。あんな建物を建てるより、他に税金を使って欲しかった。もっと福祉に使って欲しかった。年寄りに優しいまちにして欲しい。

◆モザイクタイルミュージアムは、市民のための必要性を感じない。

◆財政状況が厳しく、今ある施設の維持・更新が困難な中で、昨年モザイクタイルミュージアムが大々的にオープンしたことに少し疑問を感じている。

◆美濃焼ミュージアム、モザイクタイルミュージアム、土岐川観察館など、地域性のある施設は維持して欲しい。

◆文化会館に、有名な交響楽団やバレエ団、テレビ収録などを積極的に招いて欲しい。音響や座席などの改修も必要になってくると思うが、時代・技術に乗り遅れないよう、積極的に進めて欲しい。

(3) 福祉施設について

◆これから高齢者が多くなるので、高齢者が健康に暮らせる施設を考えて欲しい。

◆子育て支援施設の数に比べて、高齢者の施設が少ない。公民館が高齢者用であれば、公民館に関する情報をもっと詳しく流して欲しい。

◆高齢化に伴い総合福祉センターの利用者が多くなると思われるので、利用しやすくするためにもっと駅近くかバス停の近くに建て替えたらどうか。
◆総合福祉センターは、施設は立派なのに雰囲気が暗く、好んで利用したい感じではないのが残念に思う。人が集まりやすい環境なので、もっと温かく立ち寄りたくなるような施設になると良い。

(4) 子育て支援施設について

◆子育て支援施設は、共働き家庭がますます増えると思われるので、利用する人数に関わらず存続させていった方が良い。（4）
◆子どもが安心して遊べる施設や公園などの整備・環境づくりをきちんとして欲しい。(3)
◆今後も使いやすく、働いている方も親切な対応をお願いします。子どもに関する施設はなくさないでほしい。
◆子どもが少なくなってはいるが、子どもたちが結びつきを保てるようにいろんな楽しみを見出せる施設は保持して欲しい。
◆近隣で児童館・児童センターが充実している市は他にないと思うので、今後も頑張って維持して欲しい。
◆児童館も古く汚い所が多くて小さな子を連れて行きにくい。だから新しそうな所へ行くけれど、そこはやっぱり混んでいてマナーも良くないから居づらい。
◆児童館・児童センターが「子育て支援施設」として、具体的にどのようなサービスを提供しているのかよく知りません。
◆中学生の頃、校区内の児童館を利用したところ、「町内の違う者は来るな」と言われ今もトラウマで足を踏み入れることも嫌である。子どもの減少とともに、児童館の必要性は少ないように思う。
◆児童館・児童センターなどで使用しなくなったおもちゃ、絵本を貸し出すサービスを増やしたら良い。
◆本土児童館は2階にあり、トイレも臭うので親たちから苦情が出ている。
◆中央児童館や太平児童館などは、おもちゃもほとんど壊れているか汚れていて、せっかく行っても遊ぶものがないです。
◆笠原児童館は施設やおもちゃなどがとても大切に使われていて、先生も利用者も協力的だった。

(5) 産業系施設について

◆勤労者センターは何に使用されているのか、近隣住民でも知らない。（2）
◆産業文化センター近くに住んでいるが、一度も利用したことがない。駐車場も狭いように見える。

(6) スポーツ施設について

◆日本一暑いまちなので、市民プールがあっても良い。（3）
◆ゴミ処理場の熱を利用した温水プールができれば、たくさんの人が喜ぶと思う。（2）

◆テニスコートの利用時間を夏は1 時間延ばし、料金を安くして欲しい。野球場など、子どもたちが利用する施設にもっとお金をかけて、スポーツ育成のために取り組んで欲しい。（2）

◆総合体育館は、設備改修行い、ホームページで利用方法をアナウンスし、説明会の回数を増やすなど、使いやすくして欲しい。（2）

◆スポーツ施設の数が全然足りない。

◆スポーツ施設は国道19 号以北と以南で大きな差がある。以北に体育館がないため、スポーツの選択肢が少ない子どもたちが多いのも事実です。

◆市内に複合的なスポーツアリーナ（駐車場が多く、他地域からイベントを持ってこられるような）があってもいいと思う。多治見のスポーツ施設を他地域の人に自慢できるくらいの中核的な都市に将来なって欲しい。今の施設が古く、利用者が使いにくい所もあるため、もっとグローバルな視線で革命を起こしてやるくらいの熱い市政であって欲しい。

◆体育館に冷房をつけて欲しい。

◆プール、キャンプ場、バーベキュー場、アスレチックなど人の集まる施設があると良い。市民は格安で利用できるメリットがあるとさらに良い。

◆総合体育館は土日には各種の競技会に使用されているが、ほとんどの利用者が車で来るため駐車場が少なく大変困っている。市外・県外ナンバーの車がかなりあり、今のままでは会場の評価が下がり競技会場が他の市に移ることも予想される。住宅街の真ん中にあるわけでもないので、解決方法があるのではないか。

◆総合体育館は指定管理者が代わってとても利用しやすくなった。5 年で見直すことはとても良い。うまく税金の利用を抑えつつ、良いサービスを提供できる仕組みを他の自治体の良い例から学び、生かして欲しい。

◆総合体育館あたりに良い施設があると使用しやすいと思う。

◆多治見市営球場の建替え。

⑺ 病院施設について

◆市民病院の医師の確保（2）

◆市民病院がきれいになって感謝している。先生方も感じが良い。患者数が県病院よりいつも少ないようで、もっと市民病院にも人が来られるようにといつも感じている。

◆市民病院はきれいで立派な施設なのに、使っていない病棟があることは残念。高齢化が進んでいるので、患者の受け入れや病院運営をなんとかして欲しい。

◆市民病院も経営が難しいのであれば、方向を変える必要もあるのではないか。

◆病気の治療で市民病院にお世話になりました。病院施設もよろしくお願いします。

◆市民病院はなくても良いです。県病院がある。

◆公共施設として市民病院を入れるのは間違いではないか。市民病院は絶対必要なものです。

⑻ その他の施設について

◆学校は若い世代が移住する際の検討要素の一つのため、子どもたちが快適に過ごせるよう建替えや修繕を積極的に実施した方が良い。（3）

◆夏場は暑すぎるので、小中学校にエアコンを設置して勉強に集中できる環境をつくってあげて欲しい。（3）
◆児童数が減少している学校は、空き教室を多機能化するなど有効利用する方法も考えていくべき。（3）
◆学校のトイレがとても古い。改修を行い、子どもたちが気持ち良く利用できるようにして欲しい。（2）
◆小・中学校などの運動場をもっと地域の人が利用できるように有効活用していくと良い。（2）
◆学校にナイター設備があると良い。
◆私たちの時代には小学校1～2 校に対して中学校1 校だったのが、根本小は3 校の中学校に分かれる。少ない人数で入学すれば、どうしても友達も少なくいじめなどの問題も出るのではないか。多治見市全体で見直しができないか。
◆学童保育は、働く母親が安心して預けられるように施設を整える必要がある。
◆学校、保育園をバリアフリーにして欲しい。
◆双葉保育園で、園児の健康管理はどうしているか知りたい。
◆星ケ台保育園のようにとても立派なものができても、結局2 園から1 園になってしまい入りたくても入れない。そんな統合だったらいりません。
◆保育園の民営化。
◆公共施設を、不足していると言われる保育園などに転用してはどうか。
◆市営住宅を退去する時、自分たちで建てた小部屋やアンテナ（テレビ）がそのまま放置されている。
◆市営住宅が荒れている。少子化・高齢化の時代に入った今、時代に合った住宅施策が求められていると思う。
◆子どもが快適に遊べる公園が少なすぎる。現在ある公園の整備も不十分である。実際に使う人のことを考えて計画・整備して欲しい。（2）
◆大型遊具のある公園が欲しい。
◆低学年が安全に遊べる公園がほとんどない。公園と書いてある所に行っても、遊具が置いてなく看板だけの所もある。もっと子ども中心に考えて欲しい。
◆野外で子どもたちが体を使って遊べる広場があちこちにあれば、ゲームばっかりやっている子どもは減ってくるのではないかと思う。
◆太平公園の樹木が大きくなりすぎ。総合福祉センターのビルよりも高いのもあり、台風の時に折れたり道路の方に行った時どうなるのか不安。公園の管理もしっかりして欲しい。木が茂りすぎて、暗い感じもする。
◆小牧市の「四季の森」や「小牧市民プール」のような、子どもを遊ばせる充実した施設がないことが残念です。
◆多治見駅周辺に公園をいくつも造っているが、必要性をあまり感じないように思われる所がある。維持・管理に費用がかかり、公園内で事故があれば市の管理責任も発生する。公園以外に利用する案が出てこないのが不思議である。
◆普段それほど利用者がいない虎渓用水広場は必要なし。そういった施設を造るなら、無料の駐車場を造って欲しい。

◆虎渓用水広場に癒されに行く。多治見もなかなかおしゃれなまちに、と嬉しくなりました。
◆多治見には公園が少なすぎる。春日井市のように各地区にある程度の緑地と公園を設置して欲しい。
◆公園や学校などの施設の開放や、土日講座での活用など、あるものを有効に活用すべき。

Ⅲ　調査票

「公共施設」に関するアンケート調査

ご協力のお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

多治見市はこれまで、行政サービスの充実のため多くの公共施設を整備してきました。しかし、施設の老朽化が進み、今後は建替えや修繕にかかる費用の増加が予想され、大きな課題となっています。また、少子化・高齢化や人口減少など大きく変化する社会状況と、厳しさを増す財政状況の中、今後の公共施設のあり方について様々な検討が必要です。

こうした状況を踏まえ、多治見市は、将来にわたり公共施設を適切に管理していくための取り組み（公共施設マネジメント）を推進しています。

今回のアンケート調査は、今後の取り組みの基礎資料として、市民の皆様からご意見をお聞かせいただくものです。対象者は、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して選ばせていただきました。アンケートの集計結果は統計的に処理し、公表させていただく予定です。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年６月

多治見市長　古川　雅典

≪ご記入に当たってのお願い≫

１．事前に別紙資料「多治見市の公共施設の現状」をお読みいただき、アンケートにお答えください。

２．アンケートは、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答えください。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってお答えください。その場合は代わりに記入する方の立場でお答えください。

３．調査票・封筒とも、お名前やご住所をご記入いただく必要はありません。

４．お答えは、質問文に特に説明のない限り、当てはまる番号に〇印をつけてください。

５．お答えの中で「その他」を選んだときは、内容をカッコ内に具体的に記入してください。

※回答をご記入いただいた調査票は、大変お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**６月30日（金）**までに郵便ポストに投函してください。

【問い合わせ先】
多治見市役所　企画部　公共施設管理室
電話：22－7133（直通）

調　査　票

事前に別紙資料「多治見市の公共施設の現状」をお読みいただき、以下のアンケートにお答えください

1．あなたご自身のことについてお伺いします。

【問１】あなたの性別について、当てはまる番号に○印をつけてください。

1　男性	2　女性

【問２】あなたの年齢について、当てはまる番号に○印をつけてください。

1　10 歳代	2　20 歳代	3　30 歳代	4　40 歳代
5　50 歳代	6　60 歳代	7　70 歳代以上	

【問３】あなたの家族構成について、当てはまる番号に○印をつけてください。

1　ひとり暮らし	2　夫婦のみ
3　親と子（子は 16 歳未満）	4　親と子（子は 16 歳以上）
5　親と子と孫（孫は 16 歳未満）	6　親と子と孫（孫は 16 歳以上）
7　その他（　　　　　　　　　　　）	

【問４】あなたの職業について、当てはまる番号に○印をつけてください。

1　会社員、団体職員、公務員	2　パート、アルバイト（学生を除く）
3　会社や団体などの役員	4　自営業
5　主に家事や子育てをしている人	6　学生
7　無職	8　その他（　　　　　　　　　　　）

【問５】あなたのお住まいの地区（小学校区）について、当てはまる番号に○印をつけてください。
※お住まいの地区（小学校区）が不明な場合は、14 の（　）内に町名をご記入ください。

1　養正	2　精華	3　共栄	4　昭和
5　小泉	6　池田	7　市之倉	8　滝呂
9　南姫	10　根本	11　北栄	12　脇之島
13　笠原	14　（　　　　　　　　）町（　　　　）丁目		

2．あなたご自身の公共施設の利用状況についてお伺いします。

【問６】不特定の市民が利用できる下表①～㊶の公共施設について、あなたの利用状況に最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

No.	施設種別	施設名称	週に１回以上利用している	月に１回以上利用している	年に数回程度利用している	過去に利用したことがある	利用したことがない
①	行政系施設	各地区事務所	1	2	3	4	5
②	市民文化系施設	養正公民館	1	2	3	4	5
③		精華公民館	1	2	3	4	5
④		小泉公民館	1	2	3	4	5
⑤		市之倉公民館	1	2	3	4	5
⑥		南姫公民館	1	2	3	4	5
⑦		根本公民館　※根本交流センター内	1	2	3	4	5
⑧		旭ケ丘公民館	1	2	3	4	5
⑨		脇之島公民館	1	2	3	4	5
⑩		笠原中央公民館	1	2	3	4	5
⑪		学習館　※ヤマカまなびパーク内	1	2	3	4	5
⑫		図書館本館　※ヤマカまなびパーク内	1	2	3	4	5
⑬		子ども情報センター	1	2	3	4	5
⑭		図書館笠原分館　※笠原中央公民館内	1	2	3	4	5
⑮		美濃焼ミュージアム	1	2	3	4	5
⑯		モザイクタイルミュージアム	1	2	3	4	5
⑰		土岐川観察館	1	2	3	4	5
⑱		文化会館（バロー文化ホール）	1	2	3	4	5
⑲		三の倉市民の里（地球村）	1	2	3	4	5

No.	施設種別	施設名称	週に１回以上利用している	月に１回以上利用している	年に数回程度利用している	過去に利用したことがある	利用したことがない
⑳	福祉施設	総合福祉センター	1	2	3	4	5
㉑		滝呂老人福祉センター　※サンホーム滝呂内	1	2	3	4	5
㉒		南姫老人福祉センター　※ふれあいセンター姫内	1	2	3	4	5
㉓		かさはら福祉センター	1	2	3	4	5
㉔	子育て支援施設	坂上児童館	1	2	3	4	5
㉕		本土児童館	1	2	3	4	5
㉖		共栄児童館	1	2	3	4	5
㉗		中央児童館	1	2	3	4	5
㉘		大原児童館	1	2	3	4	5
㉙		太平児童センター　※総合福祉センター内	1	2	3	4	5
㉚		市之倉児童センター	1	2	3	4	5
㉛		滝呂児童センター　※サンホーム滝呂内	1	2	3	4	5
㉜		南姫児童センター　※ふれあいセンター姫内	1	2	3	4	5
㉝		根本児童センター　※根本交流センター内	1	2	3	4	5
㉞		旭ケ丘児童センター	1	2	3	4	5
㉟		脇之島児童センター	1	2	3	4	5
㊱		笠原児童館	1	2	3	4	5
㊲	産業系施設	産業文化センター	1	2	3	4	5
㊳		勤労者センター	1	2	3	4	5
㊴	スポーツ施設	総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）	1	2	3	4	5
㊵		笠原体育館	1	2	3	4	5
㊶	病院施設	市民病院	1	2	3	4	5

３．公共施設の現状や今後のあり方について、あなたのお考えをお伺いします。

【問７】多治見市が、公共施設を将来にわたり適切に管理していく取り組み（公共施設マネジメント）を進めていることをご存知ですか。当てはまる番号に○印をつけてください。

1　知っている	2　知らない

【問８】公共施設の整備について、今後どのように進めていくべきか、あなたの考えに最も近い番号を選び、○印をつけてください。

1　公共施設はまだ不足しているため、今後も増やす
2　現在ある公共施設は現状のまま維持し、建替えの際は同規模で建て替える
3　現在ある公共施設は現状のまま維持し、建替えの際に規模や数を見直す
4　公共施設は既に必要以上にあるため、段階的に規模や数を減らす
5　公共施設は既に必要以上にあるため、今すぐに規模や数を減らす

【問９】今後公共施設マネジメントを進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対するあなたの考えに最も近い番号を選び、○印をつけてください。

1　容認できる	2　ある程度まで容認できる
3　容認できない	

【問 10】公共施設にかかる費用を減らすため、施設の数や量を減らすことになった場合、あなたが減らしてもよいと考える施設はどのような施設ですか。３つまで選び、○印をつけてください。

1　稼働率や利用者数の少ない施設	2　他の施設と用途や機能が重複している施設
3　一部の人や団体しか利用していない施設	4　建物や設備が古くなっている施設
5　施設の維持・管理にかかる費用が高い施設	6　民間で同様のサービスを行っている施設
7　交通の便が悪い施設	8　市民のニーズに合わなくなった施設

【問 11】公共施設にかかる費用を減らすため、施設の使用料を上げることになった場合、使用料は何を基準に決めるべきですか。あなたの考えに最も近い番号を選び、○印をつけてください。

1　近隣にあるよく似た民間施設の料金	2　近隣自治体にあるよく似た公共施設の料金
3　施設の運営にかかる費用	

【問 12】将来に備え公共施設を適切に管理するための下表①～⑨の対策について、それぞれあなたの考えに最も近い番号を選び、〇印をつけてください。

No.	対　策	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
①	現在ある公共施設を統廃合したり、機能の複合化※1、多機能化※2などによって施設の数や量を減らす	1	2	3	4
②	施設の長寿命化※3を図り、できる限り長い間使用する	1	2	3	4
③	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	1	2	3	4
④	施設の建替えや維持・管理、運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4
⑤	地域に密着した施設は、地域住民などに管理・運営を任せる	1	2	3	4
⑥	利用していない市の施設を売却または貸し出す	1	2	3	4
⑦	運営にかかるコストを削減するため、運営時間を短縮するなど、施設で提供するサービスの水準を引き下げる	1	2	3	4
⑧	運営にかかるコストは利用者がより多く負担するべきであり、使用料などを引き上げる	1	2	3	4
⑨	運営にかかるコストは利用者だけでなく市民全体で負担するべきであり、できる限り税金から支出する	1	2	3	4

※１　複合化　：一つの建物に異なる用途の機能を持たせること。
※２　多機能化：一つの空間を利用時間などで分けて、異なる用途の機能として利用を図ること。
※３　長寿命化：施設をできる限り長く使い続けるため、修繕や改修工事を計画的かつ積極的に行うこと。

【問 13】不特定の市民が利用できる下表１～41 の公共施設のうち、市が将来にわたって優先的に維持するべきとあなたが考える施設を５つ選び、<u>優先順位をつけて番号をご記入ください。</u>

１位	２位	３位	４位	５位

No.	施設種別	施設名称
1	行政系施設	各地区事務所
2	市民文化系施設	養正公民館
3		精華公民館
4		小泉公民館
5		市之倉公民館
6		南姫公民館
7		根本公民館　※根本交流センター内
8		旭ケ丘公民館
9		脇之島公民館
10		笠原中央公民館
11		学習館　※ヤマカまなびパーク内
12		図書館本館　※ヤマカまなびパーク内
13		子ども情報センター
14		図書館笠原分館　※笠原中央公民館内
15		美濃焼ミュージアム
16		モザイクタイルミュージアム
17		土岐川観察館
18		文化会館（バロー文化ホール）
19		三の倉市民の里（地球村）
20	福祉施設	総合福祉センター
21		滝呂老人福祉センター　※サンホーム滝呂内
22	福祉施設	南姫老人福祉センター　※ふれあいセンター姫内
23		かさはら福祉センター
24	子育て支援施設	坂上児童館
25		本土児童館
26		共栄児童館
27		中央児童館
28		大原児童館
29		太平児童センター　※総合福祉センター内
30		市之倉児童センター
31		滝呂児童センター　※サンホーム滝呂内
32		南姫児童センター　※ふれあいセンター姫内
33		根本児童センター　※根本交流センター内
34		旭ケ丘児童センター
35		脇之島児童センター
36		笠原児童館
37	産業系施設	産業文化センター
38		勤労者センター
39	スポーツ施設	総合体育館（感謝と挑戦のＴＹＫ体育館）
40		笠原体育館
41	病院施設	市民病院

【問 14】最後に、公共施設の今後のあり方について、ご意見・ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

回答をご記入いただいた調査票は、大変お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、6月30日（金）までに郵便ポストに投函してください。

※調査票・封筒とも、お名前やご住所をご記入いただく必要はありません。

資料　まず、この資料をお読みいただき、別紙アンケートにお答えください。

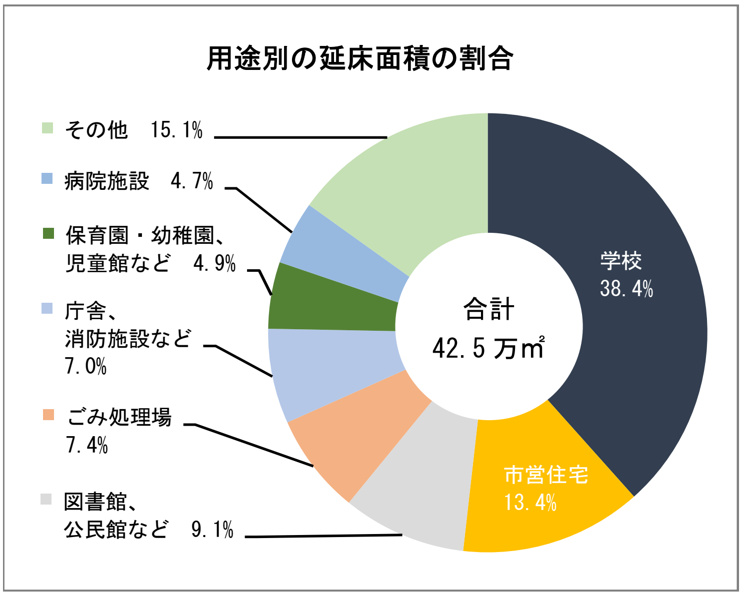
多治見市の公共施設の現状

多くの公共施設があります

市の公共施設は 247 施設あり、総延床面積は約 42.5 万㎡あります。

用途別では、学校と市営住宅で全体の延床面積の半分以上を占めています。

市民一人当たりの延床面積は 3.84 ㎡で、全国平均（3.22 ㎡）に比べ約 19%多いことが分かりました。



建替えや大規模修繕が必要です

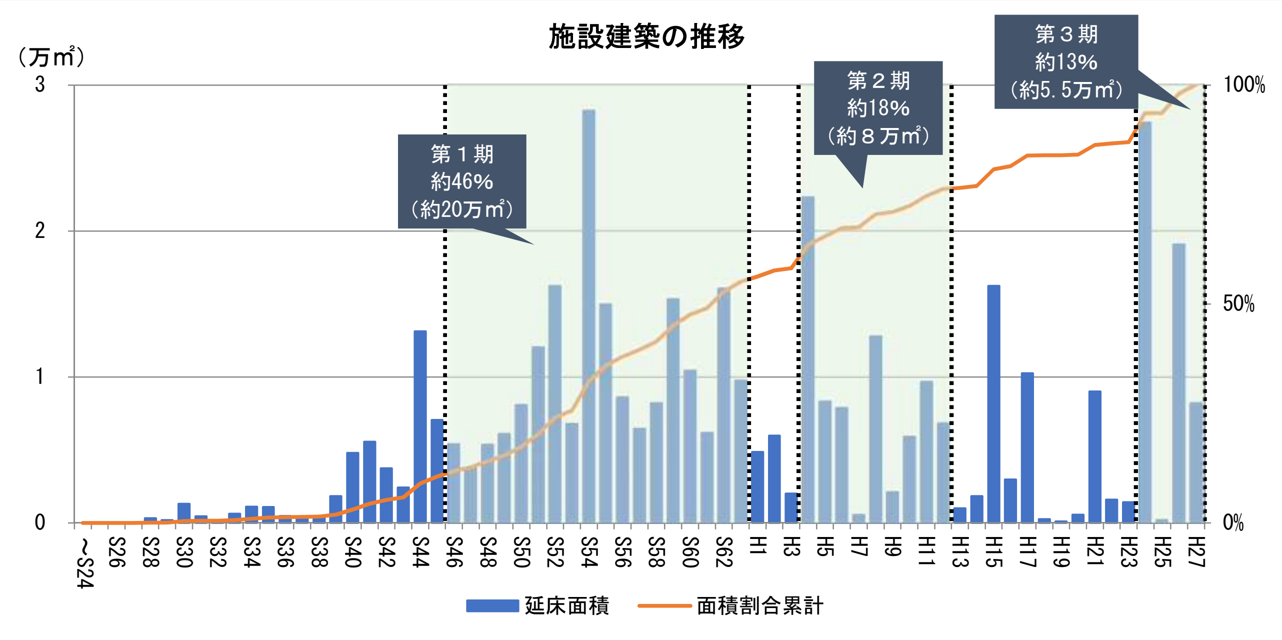
建築の推移を築年別に見ると、大きく３つの建築時期があることが分かります。

第１期は昭和 40 年代後半から 60 年代で、建築された建物は全体の約 46%（約 20 万㎡）と、多くの割合を占めています。これは、経済成長に伴う人口増加に合わせて施設量が増加したものと考えられます。

第２期は平成４年から平成 12 年にかけての期間で、建築された建物は全体の約 18%（約８万㎡）です。これは、バブル崩壊後に国が行った景気対策により施設を整備した時期に当たります。

第３期は平成 24 年から平成 27 年で、建築された建物は全体の約 13%（約 5.5 万㎡）です。これは、市民病院の建替えや旧笠原町との合併に伴う特別な財政措置を活用した施設整備によるものです。

今後、これらの施設の老朽化が進み、建替えや大規模修繕が必要となってきます。



裏面に続く

今と同じ規模で維持・更新することはできません

今ある公共施設を全て同じ規模で維持・更新すると仮定し、建替えや大規模修繕にかかる費用を推計すると、今後 40 年間で約 1,760 億円、１年当たり約 44 億円が必要となることが分かりました。

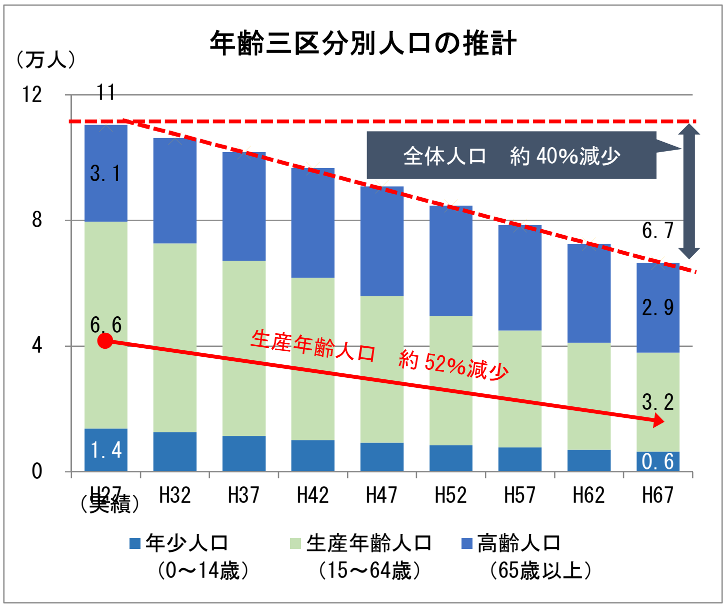
一方、この５年間に市が公共施設の維持・更新に支出した費用は１年当たり約 22 億円。これは、全ての施設を維持・更新するために必要な１年当たりの費用（約 44 億円）に対し 50%であることから、公共施設は全体の半分しか維持・更新できないことが分かります。

また、生活の基盤であるインフラ（道路、橋りょう）を優先的に維持・更新する前提で試算すると、公共施設は全体の約３割しか維持・更新できないという結果も出ています。

社会状況が大きく変化し、財政状況は厳しくなります

今後、市の人口は減少を続け、平成 67 年には全体人口が約 40%減少する推計となっています。年齢三区分別人口構成を見ると、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少し、特に生産年齢人口は約 52%も減少します。一方、高齢人口は約７%の減少に留まり、少子化・高齢化が進みます。

生産年齢人口の減少に伴い、市の歳入の多くを占める市税収入は減少すると考えられますが、社会保障費などの支出が増加し、公共施設などの整備に使える費用は現在よりも減少していきます。

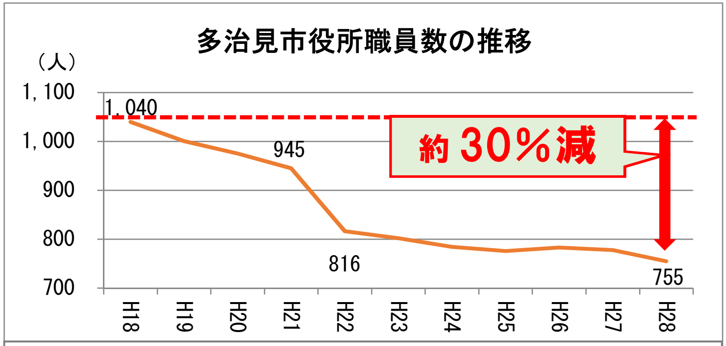


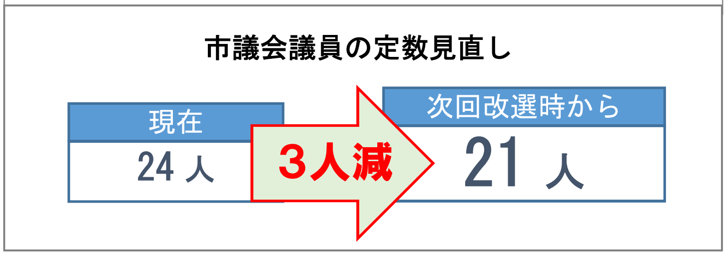
公共施設の適切な管理（公共施設マネジメント）が必要です

効率的かつ効果的な行政運営のため、多治見市はこれまでも様々な施策を実施してきました。

市役所の職員数は、職員の生産性を向上させ、この 10 年間で約 30%削減してきました。また、市議会議員の定数も、次回改選時（平成 31 年４月）から３人減となります。

今後さらに厳しさを増す財政状況に対応していくため、こうした施策に加え、公共施設の適切な管理（公共施設マネジメント）を推進していく必要があります。





お読みいただきありがとうございます。別紙アンケートにご協力をお願いいたします。

「公共施設」に関するアンケート調査
報　　告　　書

平成２９年１０月

多治見市役所　企画部　公共施設管理室

〒507-8703　岐阜県多治見市日ノ出町２丁目１５番地
電話：　０５７２-２２-７１３３（直通）
　　　　０５７２-２２-１１１１（内線１４１６）